

商 況

販賣旬報 第187號 昭和7年2月22日
製鐵所販賣部

3、4月積及4、5月積先物の申込

4、5月積の申込は遂に1,600 吨に激減して正に嵐の跡の静けさの観がある、然し2、3月積は3,500 吨で餘燼未だ盡きずと云ふ感がある。

要するに今になつて漸く3、4月積の1萬6,000 吨が頭に入つて警戒氣分となつたものと思はれる。

3、4月積先物申込高揚地

品名	東京	大阪	名古屋	其他	合計	
角平等不溝工	鋼	190	349	35	48	622
	鋼	105	404	20	183	712
	山形	62	779	10	—	851
	山形	134	442	52	8	636
	山形	114	625	—	2	741
合計	605	2,599	117	241	3,562	

3、4月積先物引受高工場別

品名	1、2小形	3小形	1中	2中	1大	2、3大	4型	合計
角平等不溝工	鋼	433	—	176	13	—	—	622
	鋼	295	—	422	—	—	—	717
	山形	—	—	—	567	—	—	567
	山形	—	—	90	25	—	169	284
	山形	—	—	163	173	243	42	621
	山形	—	—	—	—	659	82	741
合計	728	—	688	201	740	1,071	124	3,552

4、5月積先物申込高揚地

品名	東京	大阪	名古屋	其他	合計	
角平等不溝工	鋼	35	65	20	18	138
	鋼	—	55	—	26	81
	山形	50	130	10	—	190
	山形	—	130	—	—	130
	山形	180	405	35	—	620
	山形	90	355	10	—	455
合計	355	1,140	75	44	1,614	

3、4月積線材申込及引受數量

區分	神戸製鋼				製鐵所				計						
	東京	大阪	名古屋	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計	
店別 申込 引受	三井	—	500	—	500	2,330	1,000	65	—	3,395	2,330	1,500	65	—	3,895
	三井	—	1,425	—	1,425	640	1,375	65	—	2,080	640	2,800	65	—	3,505
	岩井	—	1,750	—	1,750	1,550	2,450	—	150	4,150	1,550	4,200	—	150	5,900
	安宅	200	2,730	—	2,930	2,000	2,580	—	—	4,580	2,200	5,310	—	—	7,510
	日商	—	2,200	—	2,200	600	100	—	—	700	2,800	100	—	—	2,900
計	200	8,605	—	8,805	7,120	7,505	130	150	14,905	9,520	13,910	130	150	23,710	
引受計	—	4,500	—	4,500	3,360	2,860	130	150	6,500	3,360	7,390	130	150	11,000	

内容に見る通り、兩月共大阪方が斷然多量で東西の力の相違を證明して居る。斯くの如く減少するのが當然の經路で見様によつては未だ減少の餘地がある様にも思はれる。

3、4月積線材の締切一申込2萬4,000 吨

10日に線材の締切があつたが、其結果申込は別表の通り殆んど2萬4,000 吨と云ふ近來にない多量となつた。

輸入減による供給不足と、針金の特種需要が出たなど云ふデマも飛んで彌が上に買氣を煽りそれが實惜みの原因となつて市場品掠れを感じて東西共昂騰氣勢となり特に大阪方面は急騰して一時は92、3圓まで呼ばれる状態となつたのが影響して3、4月積に斯くの如き殺到を見たと思はれる。

共販としては賣出しの際の約束に随ひ、最大限度の1萬1,000 吨を引受けることにして割當を行つた。

3、4月積中型山形の締切一1割減とならず

13日締切つた中型山形の申込は別表の通りである。賣手側は市場の趨勢を考慮して前月に於て申込1割減を主張して肯かれず、今月も再び之を繰返し主張したるに對し買手側は其際は双手を舉げて賛成したが、申込を見ると1割減を活用した處は一軒もなく、遂に斯くの如き結果に到達した。此は要するに將來の需給に對する賣手、買手の見解の相違で如何ともすることは出来ないが、先行の市場が需給關係により好轉した場合の賞讃と、悪化の場合の責任は共に買手側が負ふべきものと思はれる。

3、4月積小型山形の締切

13日に申込の締切をした結果は次の通り前月の2,500 吨に比し殆んど半減した。

中型山形 3、4月積申込高

申込者	(責任數量 ±10% 差支なし)	三菱 (4,800) 噸	岩井 (250) 噸	安宅 (150) 噸	岸本 (100) 噸	岡谷 (550) 噸	伊藤(信) (100) 噸	伊藤(宗) (50) 噸	總計 (6,000) 噸
京濱揚	等邊	1,560	90	—	100	505	—	55	2,310
	不等邊	20	—	—	—	—	—	—	20
阪神揚	等邊	2,605	135	105	—	160	—	—	2,945
	不等邊	206	—	10	—	—	—	—	216
伊勢揚	等邊	135	—	—	—	—	110	—	245
	不等邊	—	—	—	—	—	—	—	—
關門揚	等邊	44	50	50	—	—	—	—	144
	不等邊	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	等邊	4,344	275	155	100	605	110	55	5,644
	不等邊	226	—	10	—	—	—	—	236
	計	4,570	275	165	100	605	110	55	5,880

前月と事情を異にするのは大阪の減少が特に甚だしいと云ふ事で前月に大阪が伸鐵の脅威を助長すると云ふ理由の下に 1,400 噸に近い數量の全部引受を熱望したのと對稱して色々な感を懐かせる。

申込數量	東京	大阪	名古屋	門司	其他	計
	620	413	169	21	10	1,233

猶此申込は全部引受けた。

線材の輸入一僅少

別項速報によれば輸入の線材は本旬も 390 噸と云ふ僅少で5番線は上中旬の計で 500 噸餘で全部合せても 1,000 噸餘である。

現在の線材市場は東西共強調で特に大阪方面は再び三度硬化を傳へられて居るのは、勿論製品たる釘、針金の昂騰に基因しては居るが—は此僅少な輸入數量が興つて力あるものと思はれる。

然し前月來の好調は大部外注を刺戟したと傳へられるから、或は相當な反動があるではあるまいかと憂慮して居る筋もあるが、目先としては好材料たるを失はぬと見られて居る。

猶近來製鐵所の生産も漸次増加の傾向にあり僅に月産 1 萬噸以上の能力はあるとの事であるから輸入數量にも當然變化を來すものと思はれる。

ブラツセル齋藤囑託通信 2月13日入電

市場は相變らず閑散裡に推移し、相場も變らず。

2月20日入電 市場鈍調にして下押氣配。相場次の通り(金スターリング建)

棒鋼	大型山形	中小型山形	工形(B, S)	鋼板(3/16")
2-12-0	2-11-0	2-12-0	2-11-0	3-1-0

1月22日發信 市況は手堅く持合の状態にて近來、南米方面よりの入注を見申候獨逸メーカー 12 志安の offer を致居候へ共結局前週の値頃にて折合びたる由に候即ち。

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2-14-6	fr. 510
Angles (heavy)	2-13-6	510
" (medium)	2-14-6	—
Joist (N. S.)	2-12-0	500
" (B. S.)	2-14-0	515
Plates (3/16")	3-5-0	610
Hoops (base)	3-15-0	—
Wire rods	6-0-0	850

(總て金スターリング建)

週般來巴里に開催中なりし國際鋼塊カルテル委員會は各國の數量割當に就き多少の難關ありしも結局折合ひを見たるもの、如く(未だ決議内容發表せられず)根本問題は總て一致を見て餘の細目の取極めは次回3月の會合にてなし4月より運用を見るものと存候又共販機關も著々と其機構組織を練り大體工形鋼及半製品組合の二組合は次回2月の巴里會議にて其決定を見るものと云はれ候

1月29日發信 市況は靜穩ながら引續き手堅く保合居候へ共先週より6片乃至1志安を唱へ居候目下 Dumping 的安値の値入れをするものは主に獨逸メーカーにして白耳義メーカーは概して中々値押を承知せず強氣の様子に見受けられ申候

愈々來週は英國鐵鋼關稅の引上を實施せらるゝ事と相成候(大體 10%—15%)

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2-14-0	fr. 500
Angles (")	2-10-0	500
Joist (N. S.)	2-11-0	495
" (B. S.)	2-12-6	510
Hoops (base)	3-12-6	—
" (gold drawn)	7-2-6	—

(gold sterling=\$ 486=Fr. 175)

東西市況—材料待ち

いくら氣候が暖かでも時が來なければ解決付かないものと見えて、霜枯れ月はそれらしく荷動きも未だ鈍調で、特に地方筋は如何に氣乗薄とは云へ眼前の 20 日に總選舉を控へては荷動きは全くなく、それとは反對に入荷は概ね順調な爲め聊か出入のバランスが取れなくなつたが、一部では選舉の結果に相當の期待を繋いで居る筋も

あつて先行に就ても硬軟兩様の觀察が織り交ぜられて居る爲め強弱共に底力なく相場も區々となり、茲許當分は大體に於て保合圏内の浮動往來を繰り返して環境の事情展開待ちの模様と見られて居る。

東 京 市 況

丸 鋼 6mm少量の伸鐵物の注入によつて頭打ちとなり 9mmは材料待ちに此邊を彷徨して動かず、12mmは品薄緩和されず小康を續け、ベースは先の物まで 5 圓 95 錢となつたと云ふ程度で中々 60 圓臺の出現迄に至らず、中丸以上不變。

角、平鋼 角は前旬以來の小堅い商狀を續け、切れ物たる 1 $\frac{1}{2}$ が 6 圓 50 錢、1 $\frac{1}{4}$ 、1 $\frac{3}{4}$ など 7 圓を唱へられ 2 $\frac{1}{2}$ は殆んど手持無く、平は中板と共に今旬に於ける光り物の觀を呈して總體から見て好調と云はれて居る。

型 鋼 中型等山は 6 \times 50 \times 50 は不相變入荷を見ぬ爲め 8 圓 50 錢とか 70 錢とか狂相場を呼んで居る外は入荷氣構に 10 錢拂みの引緩みを見せ、大形型物は浮動の安値物が市中に賣りに出されて居ると云ふ噂に氣を悪くして全般的に頭打ちの材料とされて居る、等邊大型と不等邊は小甘く、溝形のみは相當強調ではあるが一時から見ると餘程平均されたと傳へられて居る、工形保合のまゝ變化ない。

鋼 板 16 は入荷が豫想より尠く、其處へ付け込んで若干の思惑買もあつたので戻り氣味となり 23 は此邊で一服と見られ、32 は動くことも相當動くがかなりの入荷を見た爲め小甘く、45 は 3 \times 6 だけ 7 圓 7、80 錢と硬化したが其他はシャーの注入に保合の域を出せず、60 以上もシャーから弗々出廻る爲め軟調を傳へられて居る。

大 阪 市 況

丸 鋼 大局的には現在以上に好轉すべき曙光をまだ認め難いが、何分にも舊臘以來引續き相當な値頃を見せてゐるだけに一般間屋筋では口で弱いことはいつてをるものゝその實滿蒙新國家の出現に對して相當期待をかけ、思惑も幾分手傳つてか昨今の鐵材相場が多少波を打ち出したのは注目に値する。然しこうした氣配も全くこのころの氣候のやうに曆では春になつてゐながらなかなか暖かくならず實にもどかしい感とする。民間寸法ベース物はメーカーよりの出廻り不順調にて手堅く保合ひ、50mm 以上の中丸は相變らず順調なる足取りを見せ相場も 6 圓 5、80 錢と相當な利益を擧げてゐる。太丸は前報と變らず。

年 寄 の 腹 立 つ 春 の 寒 さ 哉

角、平鋼 角鋼は總じて當所よりの荷廻り悪しく 7 圓

以上を唱へられてゐる、 $\frac{5}{8}$ 以下の細物は伸鐵物にて緩和され、 $\frac{3}{4}$ 以上は不相變市中品掠れにて特に 1 $\frac{1}{2}$ 、1 $\frac{1}{4}$ 、1 $\frac{1}{2}$ 、1 $\frac{3}{4}$ 、2 $\frac{1}{2}$ 等は 7 圓 1、30 錢に取引されてゐる。平鋼民間分野ものは伸鐵方面よりの手當にて稍引緩み 3 $\frac{1}{2}$ 以上の當所分野ものは極度の品薄にて強保合と云はれてゐる。

型 鋼 一般に荷動きは鈍い模様である。小型アングルは當所立に伸鐵方面よりの荷廻り順調にて頭重の態である。就中 3 \times 25、3 \times 32、3 \times 40 等は特に安い。中山 6 \times 50 は東京高を移して高値を呼ばれ先般來東京方面へ多量出荷した關係から大阪市中ストックは極度の減少を呈してゐる。大型山形鋼は出足鈍き品丈けに相場も居据りと云はれてゐる。溝形鋼 $\frac{3}{8}$ \times 3 \times 6 は手當薄のため 7 圓 80 錢と光つてゐる。其他のものは先づ 7 圓 2、30 錢見當か。工形鋼不變。

鋼 板 1、2 中板は一時東京方面よりの注文殺到した爲めに大阪市中は活況を呈してゐるが最近當所よりの積出しにやゝ引緩みの態にて相場は別表の如く前旬來 10 錢拂みの反落を見せてゐる。厚板は豫想に反し荷動き遅々として進まず凡調を辿つてゐる。

線 材 目下の呼値は

大 陸 物	1 英噸	金 92 圓
當所及神戸製鋼品	1 噸	金 86 圓

である。

線材共販 3 月物値段 83 圓發表により買手は總見送りとなり 84 圓迄下押したるも釘、針金等の製品は相變らず相當の高値を維持してゐる關係から相場も前記の如く 86 圓まで直ちに引返し目下手堅き含みで持合つてゐる。

鉦 力 板 最近ドイツ製品の大阪市場進出は目覺しいものがあると云はれてゐる。本國引締りかたかた當市中氣配も強含みといはれてゐる。然し目下不需要期である關係から小口當用買弗々にて只管時機待ちの態と云はれてゐる。

販 賣 旬 報 第 188 號 昭和 7 年 3 月 2 日

製 鐵 所 販 賣 部

東京に於ける鐵問屋の變遷 (其 3、完)

3、國產鐵鋼時代 (昭和年間)

1、昭和時代を指して何故に國產鐵鋼時代と云ふや、面倒でも次表に一瞥を與へられたい。

過去 10 年間に於ける國產と輸入の比較

	内地生産	%	輸 入	%	計 總
大正 11	661,781	38	1,088,447	62	1,750,228
〃 12	754,674	49	796,847	51	1,551,521
〃 13	841,347	42	1,151,676	58	1,993,023
〃 14	1,042,978	66	531,034	34	1,574,012
〃 15	1,256,302	58	923,628	42	2,179,930

昭和	2	1,415,121	64	810,960	36	2,226,081
〃	3	1,720,489	68	820,554	32	2,541,043
〃	4	2,033,880	72	784,965	28	2,818,845
〃	5	1,919,290	82	434,843	18	2,354,133
〃	6	1,559,397	89	202,517	11	1,761,884

1、昭和5年迄は「製鐵業參考資料」による。昭和6年は旬報186號による。

2、%は「計」を100とした百分率を示す。

今より10年前の大正11年に僅に38%しか占めて居なかつた國產鐵鋼は、昭和を一轉機として逐年急劇に増加の傾向を辿り昭和6年に至つたは遂に89%を占むるに至り、永い間其蹂躪に委した輸入鐵鋼を殆んど影を留めないまでに驅逐して、遂に國產鐵鋼時代を出現するに至つたのである。「和鋼」と今日の鐵鋼では全然其趣きを異にはするが、或意味から云へば是は日本鐵鋼の「復古」とも稱すべきものである。

然して洋鐵鋼時代の30年間は鐵問屋の黄金時代であつたのとは反對に國產鐵鋼時代は鐵問屋に取つては正に受難時代、衰微時代なのである。

2、洋鐵鋼時代の當初に引取屋の出現があつたと同じ様に國產鐵鋼時代に問屋に絡つて見遁せない機關は「所謂」四社である。然らば此四社が今日の如くなるまでに如何なる道程を辿つて來たか、之れを詳説すれば製鐵所の販賣史とも云ふべきものとなるが、此處では極簡短に其經過だけを述べる。國產鐵鋼の中樞は何と云ふても製鐵所である、従つて此四社も製鐵所を中心として變轉して來たのである。

製鐵所が遠く明治34年2月5日に第一熔鐵爐に點火した當時は9萬噸を目標にして居た頃で出來た製品の大部分は所内の建設工事に使用し、ほんの一部分を近くの鐵商に拂下げて居たに過ぎない状態なので日露戦役前までは殆んど國內に販賣し得る製品が出來なかつたと云ふも過言でない。明治37、8年頃大阪の津田商店が製品の拂下を受けたのが大阪方面進出の嚆矢とも聞いて居る。日露戦役後製品も追々良くなり、官廳方面でも使用する様になつて生産も増加し漸次市場に出る様になつてからは森岡、岸本兩商店を初めとして東西十數軒の問屋が一般鋼材の拂下げを受け、大倉組大阪支店が主としてルールを取扱つたのである。然し此頃は勿論先物取引などはなく出來た現物の拂下げを受け、問屋としても輸入品の副食物位に考へて居つたのである。此頃が問屋獨專時代を第一期とも稱すべきものである。

越えて明治末期の頃に至つて生産高も眼に見えて増加する様になつて來た頃、三井物産が之に着眼して東西各十軒の問屋を糾合した三井組なるものを組織して之が販賣に従事する様になつた。大倉組はまた四軒の問屋を集

めて之に當り、森岡、岸本だけは別個に取引をして居たのである。即ち此頃は三井組、大倉組及森岡、岸本時代でこれは概ね大正5、6年頃迄續いて居た。此間に大正3年頃から一時先物の形式を採つた事もあつた様である又、此時分が最不況時代で記録によると大正3年5月20日の當時値段は棒鋼ベース62圓であつた。此を底として爾後歐洲戰爭の影響により逐次好轉するに及んで鈴木岩井、安宅等が參加したが、未だ問屋を中心とした前記の諸店が勢力を振つて居つた模様である。其後大正6年末から7年へ掛けての潰職事件が、勃發するに及んで大倉退き安宅も一時中止するに至つて分野も變化を來したが、大正7年の3、4月頃から其年の暮まで續いた公入札時代に新進の發展目醒ましく問屋の影は聊かうすれ氣味となり混戦時代を現出するに至つたのである。此好況の最絶頂は大正7年8月で棒鋼423圓と記録され鋼板に至つては大正7年9月932圓であつた。然るに大正8年3月には棒鋼200圓、鋼板365圓迄暴落した爲め遂に未曾有の解合さへあつた、大正8年上半年は殆んど整理の爲め經過し下半期に入り稍整理も一段落となるに及んで天下は一變して三菱も參加し、三井、三菱、鈴木、岩井、森岡、岸本が表面に残り、擔保信用制度なども出來て、愈々後年の「四社」の形式は整備して來たのである。

斯くして關東大震災まで殆んど此儘で推移して來たが此間は未だ輸入品の方が面白味があつた爲め國產品に對する力の入れ方も目立つ程の事もなく、是等各社も輸入と國産を兩天秤に掛けて商賣して居たが、震災後安宅の加入あり大正15年2月には製鐵所販賣部が外注防遏の大旗を振り翳して東京へ進出するに及んで俄然一大衝動を起し、三井、三菱、鈴木、岩井、安宅の五社は渾然一體となつて外注より轉じて製鐵所製品の取扱ひに専念するに至つて、問屋の影は愈々薄くなつて來たのである。

昭和2年鈴木商店が没落して其大部分は岩井、安宅に流れ込み、茲に始めて四社なるものが出來た。然して創草時代に勢力を振つた問屋は全く四社の蔭に蔽はれ僅かに森岡、岸本の二店が直接先物契約の權利を持つて居るだけとなつた。現在の先物制度は大正14年初め問屋の要望により出來たが、賣手と買手が協議の上毎月一回定期的に賣値を定める現在の形式は大正14年7、8月渡より初められ、また一定數量の責任を負ふ定期契約は昭和2年6月から初められたものである。此定期契約の創成に就ては色々面白い物語りもあつて三井の某氏の筆になる「定期約定物語」さえ生んだ程難産なものであつた。

即ち是等の先物、定期の契約をなされた原因は過去の

製品販賣を工場能力の販賣に換へたもので、記録的事實と云ふべきである。

一又は是等四社と民間諸會社との關係は、岩井の徳山鐵板に於ける大正5年よりの關係は別として三井の大正13年に於ける釜石鑛山、其他三菱と日本鋼管、安宅と日本鋼業、岩井と吾孀製鋼等皆最近の事に屬し然も其勢力たるや燎原の火の如く益々擴大し來るものである。

3、元來是等四社はメーカーと問屋との間に介在するコンミツション、マーチャントであつて危險は問屋が負擔するものであつた。従つて實需家方面は問屋の獨壇上で問屋としての意義も此處に存して居つたのである。然るに近來に至つては是等四社は其擁する資本と信用により逐次此實需方面に手を延ばし大建築、大橋梁に三井、三菱等の手の掛らねものは殆んど無いと云ふてよい程となつて來た、岩井、安宅も追々此方面を開拓すべく努力する傾向となつて來たのである、特に東京方面に於て此現象は著しいものである。

斯くして問屋の領域は日一日と狭められつゝあり、之は近來の建築等が益々大規模となるを以て其入札に大なる資本を要する爲めの當然の歸結であつて四社などに比すれば比較的小資本の問屋が漸次排除される傾向のあるのは已むを得ざる事と云はれて居る。

然も現在の問屋の組織なるものは華かなりし輸入鐵鋼時代を對照として構成せられたる儘何等の改善も加へられて居らない昔の儘の殘骸である。衰微するもうべなる哉である。即ち

1) 輸入時代に於ては希望のものゝ入手は3箇月近くの日數を要したる爲めストックの意義もあり、所謂仲間取引により充分の鞘取りをなし得たるも今日に於てはメーカーは手近かにあるを以て希望品の入手容易なる爲め仲間取引は益々減少してストックの意義は殆んど消滅せること。

2) 輸入に於ては仕入方法の巧拙により仕入値段に差違あり然も一般に對し不明なるを以て之を利用して利益を得たるも、今日は内地メーカーの組合組織も完成し仕入値段も一定し且公表せらるゝを以て往時の如き仕入方法による利益を見るを得ざること。

3) 震災前の建築は誠に小規模のもので大正3年に所澤飛行場が1,000 噸の鋼材を要したる時など當時一大驚異としたる程度のものであつたから問屋の手に負へたが近來は4-5,000 噸の建築はザラに在る程の大規模となつて來た爲め前述の通り一寸手が出せなくなつて來た。

其上昭和の時代に入つてより昭和3年に於て中間景氣とも稱すべき、棒鋼102圓の好況時代もあつたが、昭和

4年以來世界的不況は日一日と深刻となり6年12月迄は全くの棒下げで遂には50圓臺危ふしとまで云はれ、丸3年間苦境に呻吟した事は問屋をして益々萎微せしむる様になつたのである。

記念として最絶頂であつた昭和4年2月以降今日迄の先物棒鋼ベースの値段を記録して置こう。

棒鋼先物ベース値段表

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和4年	—	102	102	101	97	97	94	89	89	85	85	84
〃 5年	84	84	83	83	80	80	77	—	—	65	65	65
〃 6年	65	65	65	65	62	60	61	60	59	58	57	55
〃 7年	62	62	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

斯くして現在の問屋は一部の者が地方への卸問屋として、又は小工業の需要家を相手にして居る者の外、段々狭められて行く仲間取引と、建築等の下請に辛くも餘喘を保つて居るのである。然しよくしたもので昭和3年の如き又は今回の如き、稀に値上り等があつて儲かる爲め「今に何とかなるだろう」と頼めぬことを頼みとして日一日を送つて居るのである。

4、東京に於ける鐵問屋は和鋼時代には日本橋の通油町附近を中心として散在して居つたのであるが、取扱數量も多くなり、形も大きくなり、従つて解便が悪い爲め追々と舟運に便な京橋方面に移動し近來は其中心は八丁堀一帯に移つてしまつたのである。別表陸會の名簿を見ても分るであらう。八丁堀と云へば御維新前迄は腹の黒い興力、同心の居住地で寧ろ一種の權力の集合地であつたものが、其後急變して薪炭問屋の巢窟となつたが、三度轉じて黒い金を取扱ふ鐵問屋が軒を並べる様になつた、どうも八丁堀は黒いものに縁があると見える。

現在東京に於ける鐵商の組合は、東京鋼鐵問屋、陸會、京橋區鐵商組合などが主なもの、其内で陸會は主要問屋を網羅して中堅を形成して居る。此陸會の歴史は可なり古く昔は六三會とも云ひ九軒の問屋から成つて居たが其後幾變轉し最近に製鐵所の先物協議會に對する會合の様な感を懐く様になつた。會員は次表の通りである。

東京鋼鐵問屋に就ては前々回書いた通りで元老を以て任ずるもの、京橋區鐵商組合は大小問屋40何軒で如何に京橋區が鐵商の中心をなして居るかを物語るものである。(完)

鐵業陸會會員名

宿 所	店 名
京橋區八丁堀四ノ五	岩川豊吉商店
京橋區西八丁堀四ノ一ノ三	加藤謹之助商店
京橋區八丁堀四ノ一ノ一	鋼材商店
京橋區八丁堀四ノ四ノ二	本間梅吉商店
京橋區八丁堀四ノ一	莊司信之丞商店

京橋區八丁堀四ノ六	伊藤信廣商店
京橋區西八丁堀四ノ一〇	芝本商店出張所
京橋區寶町一ノ一	伊藤宗二商店
京橋區八丁堀一ノ八	入丸商店
京橋區八丁堀四ノ三	岡谷合資會社
京橋區寶町一ノ九	東京鐵部
京橋區寶町二ノ一	大野宗太郎商店
京橋區八丁堀四ノ七	勝本喜十郎商店
日本橋區江戸橋三ノ五	柳下鋼鐵合資會社
日本橋區通油町一〇	東京出張所
日本橋區小傳馬町二ノ三	淺上商店
日本橋區江戸橋一ノ二	湯淺鐵鋼部
日本橋區通旅籠町一九	水橋義之助商店
神田區旭町一二番地	森岡平右衛門商店
神田區東福田町二	淺井商店
神田區材木町二八	泉清吉商店
四谷區鹽町二ノ一七	小川市太郎商店
麴町區丸ノ内二ノ八	梅岡正吉商店
府下砂町字八右衛門二一〇	根岸吉松商店
	岸本商店東京出張所
	東京亞鉛鍍金株式會社

標準値段の改正 2月26日標準値段決定の爲め四社入電持ち寄り、外注値段は16弗15仙爲替33弗にて換算して68圓50錢となるを以て協議の結果標準値段を下記の通り決定した。

下記

角鋼、平鋼	山形鋼	工形鋼	溝形鋼 (耗物)	溝形鋼 (時物)
64圓 (2圓上げ)	64圓 (〃)	64圓 (〃)	64圓 (〃)	73圓 (〃)

新規引合のものに付ては上値段に規定の値増を付するものとす。

輕軌條賣値の改正 2月23日定時六軌會が大阪平和俱樂部に開催せられた。日先需要最盛期を控へ荷動き頗る順調なると今後の需要の激増に相當期待を覗はれ、3、4、5月物の數量も約1萬噸と嘗てなき噸數の成約を觀た。値段も爲替漸落の影響に依り若干の値上げを決定すると共に本所一般値段も次の通り改定した。

注文數量 10哩以上 1噸 80圓 (2圓上げ)
10哩未滿 1噸 82圓 (〃)

厚板共販理事會—3、4月積賣出其他

月日場所 2月22日 於大阪中央電氣俱樂部

出席者 製鐵、川崎、淺野、東海

主なる議事

1) 組合存續に關する件 當組合は2月29日を以て満了の處更に9月30日迄延長の件を附議し満場一致を以て可決した。

2) 3月積先物賣出しに關する件

(イ) 先づ四社側の希望として、外注は18弗40仙で爲替33弗3/8で採算して74圓47錢となる。一方シヤ業者の在荷は著しく減少した模様ではあるが實需依然として不振な爲め此際例へ据置きとしても買附數量の期待は困難な程の情勢にあるを以て事情の許す限り据置を希望するも、若し己むを得ず値上げするとしても是等の事情を參酌せられ是非小額に止められたし。

(ロ) 次で理事會に入り、四社側の希望に就き研究し要するに買手側の希望は多少の値上げは不得已とするも一氣の値上げは先行値下げの場合を考慮し此點熟考の上適當なる値段の決定を切望せる事情に在るものとし下記値段に決定した。

(1) 値段 3月積 耳付 定尺 切板
金64圓 金72圓 金73圓
(1圓上げ) (2圓上げ) (1圓上げ)

(2) 數量 隨意申込のこと。

(3) 締切 2月27日。

(4) 其他 其他の條件は前月通りとし切板の寸法明細提出期は締切後1週間以内とす。

猶先物賣出に就て耳付のみに限定するや又は前月通り3種共賣出すべきにやに就き種々意見の交換をなし結局前月通り3種賣出のことに決定した。

3) 隨時引合値段を次の通り改正

耳付 定尺 切板
金67圓 金74圓 金75圓

尙造船材料小口賣値段は何れも2圓上げ日本標準規格料を5圓以上とし罐用鋼板を10圓上げに夫々決定した

4、先物照會先整理の件 次記照會先は數箇月前より申込皆無につき本月の照會より削除することとした。

大倉シヤ、田中シヤ、中村藤商店。

黑飯共販理事會—3、4月積賣出し

月日場所 2月24日 大阪中央電氣俱樂部

出席者 製鐵、川崎、中山、徳山、日鋼

主なる議事 3、4月積賣出しに關する件

1、買手側提出の希望條件の要旨

(イ) 値段、別項外注英飯の輸入採算及市場實勢に基き13枚物135圓、浪原132圓50錢を希望す。

厚板値段は13枚物値段をベースとして適當の値開きを置かれたし。

(ロ) 數量は例月の賣出數量と大體同數量を希望す。

(ハ) 輸出原飯は薄飯の外に厚物28番、26番24番をも賣出されたし。

(ニ) 薄物値段の各社格差を短縮せられたし。

2、以上の通りで、希望値段の採算に就ての理由を徴す

ると外注は最近の最低 10-15-6 を爲替1志 11 片と2志の兩者で採算すれば前者は 143 圓 30 錢、後者は138圓 70 錢となる、然し爲替の現状は浮動状態にて變動甚だしく、且つ 3 月入荷の外注品の採算は 130 圓揃みに在つて内地市場相場も氣配引立たざる 實情なるを以て是等の事情を參酌、參考として 2 圓上げを要望した様である。共販各社の意見として市場相場の大勢は即ち共販の指導に基く所で共販の建値が寄與する處大なるは 勿論である、一方外注値段も眞實の採算は買手側の主張するが如き安値物の成約は困難な模様で又爲替にしても 氣配刻々悪化の情勢で特殊の材料突發せざる限り 當分恢復覺束ないと見るに至當で、斯ることを綜合すると買手の論據は必しも妥當と見ることは出来ないが 此際一杯の棒上げは四圓の状況より之れを避け、將來に相當の値上 餘地を残すことを是とし内地向薄物及厚物を通じ均一に 5 圓上げとして輸出向薄物は 110 圓とし下記條件を以て賣出すことに決定した。尙其他の條件中

- (ロ) は従前の通り賣出數量の發表を見合せ申込の結果を俟つて適宜割當てのこと。
- (ハ) の厚物の輸出に就ては 充分研究の上諾否を決することとして今回は見合せることとした。
- (ニ) は各社の品質向上による 格差短縮は希望を容れ本月は 50 錢とした。

下 記

(イ) 値 段

内地向 薄板川崎建値(噸) 137圓 薄板浪原建値(噸) 135圓 各社格差 50錢

厚物川崎建値 12枚物 133圓 11枚物131圓
10枚物128圓 9枚物126圓 8枚物 124圓 7枚物122圓
6枚物120圓 5枚物111圓 4枚物 107圓 3枚物103圓

格差従前通り

輸 出 向

薄物全部川崎建値 110圓 格 差 50錢

輸出向數量は 1,000噸のこと

(ロ) 締切 2 月 26 日

外 注 値 段

3' x 6' - 280 sheets		Narrow size	
Cif.	£ 10-15-6	Cif.	£ 10-10-6
Exchg. 2/-	¥ 107.76		¥ 105.25
Inst. 1.4%	1.50		1.47
Duty	32.22		32.22
Landing	1.30		1.30
per 280 sheet	¥ 142.78		¥ 140.24
per sheet	0.5099	6' -360 sh.	¥ 0.3895 325 sh. ¥ 126.59
per 268 sheets	136.65	7' -310 sh.	0.4524 276 sh. 124.86
incl. com' on.	138.70	8' -280 sh.	0.5008 246 sh. 123.20
		Average	124.83
		incl. com' on	126.75

1 月中大陸市況

大陸鐵鋼界も昨年末が大底で愈々 1932 年から上向くのではあるまいかと云はれてゐたが事實 昨年一杯下押、不振、鈍調、商談皆無等々悪報の連続であつたものが今年に入つてからは微温的ではあるが兎も 角稍改善、買氣起る、強調、上向等の明るい ニュースをホツホツと聞くやうになつた。

2) 昨年末休暇前に海外より相當豊富なる注文を受けた上に英國輸入關稅増額と運賃引上見越による 輸出増期待が折込まれ 引續き本年に入つても 此傾向が 持續された事。

2) 昨年末が不況の大底だつたので従つて

イ、比較的には各國の需要が多少擡頭した事。

ロ、他商品の値段の昂騰に引摺られて多少の上向を示した事。

3) 國際販賣組合再現に對する樂觀的期待及各國各品種に對して販賣組合形成に動き始めた事。等が好調を齎したと見られて居る。

然しながら一部の意見としては現在(1 月上旬)の此僅少の展開を以て鐵鋼界今後の運命を卜するのは 早計であるとしてゐたが、早くも 1 月中旬以降には復々氣配弱含みとなり混沌低迷、業界は依然として荊棘の路を 彷徨し春未遠しの感を新にさせられた。

軟化の原因として擧げられて居るものは

1、海外よりの注文減少。

2、獨、佛、白メーカーの競争再燃。

3、國際販賣組合成立の延引。

等である。

年末より年初に掛けて多少注文の多いのは 市場例年の行事で特別の現象ではないが不況のどん底では 如何なる材料でも其の刺戟を敏感に反映するに 加はへて今回は關稅増額と運賃引上げの見越と云ふ特別の 條件も手傳つて 確に市場は活氣を呈したが、元々一時的の現象で殊に英

國の新關稅に關する詳細不明に依つて不安人氣を生じ英國からの注文減少して忽ち氣配を軟化させた。

尙又南米から久し振りに珍らしく注文が有つたと喜ばれてゐたが、上海事件に依つて南支からの引合が皆無となつたので硬軟相殺されて是亦伸縮の種となつた。

是等の原因は他動的であり従つて結果は不可避的なので鐵鋼界の實力が立直らず風のそよぎにも臆病で少

しの材料でも一喜一憂の種となるやうな状態では今後とも是等の原因に依る起伏は免れ難いと言はれてゐる。

次に中旬以降に獨、佛、白メーカーの競争が憂慮されてゐるが、各國メーカーはより以上の生産制限には堪へられないので注文獲得に狂奔する結果競争は到底避け得られず。一方需要擡頭と云つても本格的に業界が恢復の緒に就いたのではなく現在の經濟状態では、まだまだ假令不況は底を離れたとしても特殊材料の現れない限り復興は徐々に成り、晨に強いものも夕べには姿を消すので必然的に各國の競争は悪化の素因となるが、是れは國際販賣組合再建の延引と關連して起つた事であるから組合成立と同時に此の脅威は御互に除去される性質のもので因果關係の源泉を探ねれば競争の據て來る所以も組合成立の延引といふ事になる。

切角出來掛けた芽を刈り込んだ最大の原因は何と言つても國際販賣組合成立の延引である。

最近(1月12日)巴里で開催された國際販賣組合委員會で大陸鋼塊組合に關する持分を基礎とする説と、各工場現在の生産力及業務の實績を基礎として國際販賣組合に於ける割當率を定むべしとする説との對峙となり、遂に其の歸結を見ず會議は其のまま2月に持越される事となつたのである。

然しながら不成立が組合、又は事務局設置に關する根本的の決裂に依るのではなく妥協性の有る割當率に關する問題なので其の成立は期して待つべしとして一般には成行を樂觀され、從つて重大問題なるに關はらず成立の延引が甚しく悲觀の材料とならなかつたのは不幸中の幸と言ふべきである。

此の組合は先づ工形鋼と半製品に就て試みられるが、將來は多方面に亘つて組合化が豫定されてゐると言はれてゐるので、現在着手されてゐる共販組合の成否は今後の大體市場に關心を持つ者の觀過出來ない動きである。

各國のインフレーション政策、關稅戰、上海事變等が今後大陸鐵鋼界に何う影響するかは暫く靜觀するとして、現在では大陸鐵鋼界の疲弊は甚しいので他力本願の消極的活路を待つてをられずに、起死回生の途を必死に求め、共存共榮自ら助くるものを助くとばかりに、人爲的に施し得る策として各國共に強固なる共販組合の改善又は設立に躍動して居るが、現時に處する最善の主動的活路であるとして各方面から夫々の共販組合成立に多大の期待が掛けられてゐる。

佛國に就て其の一端を窺へば1930年秋佛國鉄鐵組合が分裂してより總ての佛國鋼材組合の機構に龜裂を生じ1931年は同國組合受難の年であつたが、先年末12月

30日に強固なる基礎の下に新棒鋼組合が設置された。

鐵鋼界の不振は、世界的不況の影響を蒙る事比較的尠しと云はれてゐる佛國に於ても鐵鋼界を苛責なく不況の嵐に巻き込み、メーカーをして、各自の計算に基く自由なる取引に據つて乾坤一擲出たとこ勝負を選ぶか、全メーカー全製品を携げて組合に統括され大同團結の力に依つて時流を押し切るかを眞剣に考慮せねばならない淵に臨ましめ、其の結果「生き人が爲め」の道を後者に求めさせたのである。

今回設立された組合の前身である舊棒鋼組合が單に生産高の割當と値段の協定に止り製品の販賣は個々自由に裁斷して居たのに反し今回の組合は棒鋼の全メーカーが参加し而も全生産額の完全な販賣權を組合に與へた點に異色があり、眞剣味と進歩が認められる。

(下より10行目に續く※)

ブラツセル齋藤囑託通信 2月5日發信 今週の市況は東洋戰爭騒と(上海事變)英國の新關稅の爲氣迷ひ商談殆どなく相場も再び幾分安値を唱へ居候

噂によれば日本よりの入注ありとのことにて伯林の商社を通じて今週の市場にて棒鋼1,500噸又白耳義市場にて鋼塊2,000噸獨逸市場にて鋳力板4,000噸買入契約を結びたりとか一軍需用なるべしと申居候

今回の上海事變は今迄になく歐洲言論界を賑はし佛白等の新聞は何れも當面の大問題たる軍縮會議、獨逸賠償問題等の記事をさし置きて紙面の過半を日支問題と上海戰爭の経過將又ジュネーブ聯盟の記事にて埋め居る状態に御座候今週の相場は

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2-13-0	fr. 500
Angles (heavy)	2-12-0	500
" (medium)	2-13-0	—
" (Small)	2-14-0	—
Joist (N. S.)	2-11-0	495
" (B. S.)	2-12-0	510
Hoops (base)	3-15-0	750
Wire rods	6-0-0	550
Plates (3/16")	3-3-6	590

(gold sterling = \$ 4.86 = 175 belg. brs.)

※此の新棒鋼組合の成立に端を發してアンベル・デュワンデル氏に依つて、次のやうな計畫が唱導され「一般的協約」と云ふ名目の下に賛否を求めた處、何れ將來は此協約に参加すると見られてゐる。或二會社を除く佛國全メーカーの賛成を得、併せて其の成立を期して全員に依つて此の協約に署名された。

「一般的協約」の骨子を成すものは次の通りである。

- 1、佛國內既存の總ての鐵鋼組合は4月1日から向ふ3箇年間更新且つ繼續さるべし。
- 2、フープ、ユニバーサル、バー。鋼板等未だ組合化せ

られざる總ての製品に對しても新組合を設立す。

3、總ての組合は上述の期限前に分裂するを許さず。

尙又注文の割當、生産率、販賣値段其他總ての組合構成上の要素に對する見界の相異は、絶對權を有する 3 人の委員に依つて判定さる。

4、是等の組合は製鋼業者に依つて組織され re rollers に関しては何れ後日特別制度を設く。

5、ザール地方の工場も此「一般的協約」に加入する事を慈惠し品名を指定せずして總括的に 50 萬噸の持分を同地方に割當つ。

斯の如き遠大且つ強固なる抱負の下に今や佛國鐵鋼界は更生への第一歩を踏み出さんとしてゐる。

銑鐵の行衛、白耳義の競争、商人の立場等 2、3 問題は殘されてゐるが組合出現は各面から渴望されてをり、且つ必要にも迫られてゐるので其の成立は充分可能であり同時に重要な役目を果すものとして多大の期待を以て見られてゐる。

國際販賣組合及他國々内各種組合の成否が大陸鐵鋼界に何う影響するか當面の重要問題として今後業界の關心は多く其の推移に注がれるであらう。1 月中ブラツセル取引所平均相場次の通り。(金スタリーリング建)

	6 日	13 日	20 日	27 日
Steel bars	2-13-6 to 2-14-0	2-14-6 to 2-15-0	2-14-0 to 2-15-0	2-13-0 to 2-14-0
Ferro concrete rounds	2-13-0	2-14-0	2-14-0	2-12-6
Joists (stand. sect.)	2-12-0	2-12-0 to 2-12-6	2-11-0 to 2-11-6	2-11-0
" (Brt. sect.)	2-13-0	2-14-0	2-12-6 to 2-13-0	2-12-0 to 2-12-6
Angles (heavy)	2-13-0	2-14-0	2-13-0	2-12-6
" (medium)	2-14-0	2-15-0	2-14-0	2-13-6
Small angles (sharp edged)	3-10-0	3-10-0 to 3-12-0	3-7-6 to 3-10-0	3-7-6
Rods (assorted 3/8"-3/16")	3-0-0 to 3-1-0	3-0-0 to 3-2-6	3-2-6	3-0-0
Hoops	3-10-0	3-12-6 to 3-15-0	3-12-6 to 3-15-0	3-10-0 to 3-12-6
Tube strips	3-10-0	3-11-0 to 3-12-6	3-12-6	3-10-0 to 3-12-6
Plates (3/16")	3-5-0 to 3-5-6	3-5-0 to 3-5-6	3-5-0	3-4-0
" (1/8")	3-7-6	3-7-6	3-7-6	3-6-6
Bloms (6"-8")	2-6-0	2-6-0	2-6-6	2-6-6
" (5")	2-7-0	2-7-0	2-7-0	2-7-0
Billets (4")	2-7-0 to 2-7-6	2-7-0 to 2-7-6	2-7-6	2-7-6
" (2"-2 1/2")	2-8-0	2-8-0	2-3-6	2-3-6 to 2-3-9
Sheet bars (assorted)	2-9-0	2-9-0	2-9-0 to 2-10-0	2-8-6 to 2-9-0

型物は例の爲替と事局關係から先高豫想が手傳つて賣れないながらも賣惜しみも交へてどうやら強保合を續けて居る。特に永い間好調だつた溝形は此處へ來てまた 1、20 錢強ばつて居る。

東 西 市 況 — 一 齊 高

2 月末の來動から一寸荷動きがあつた様であるが、總體から見ると未だ本調子と云ふ譯には行かず特に型物類は淋しい様である。然し 28 日までは上海事件も日一日と陰惨な空氣を漲らして來て云はず語らずに、ある不安を感じしめる様になつたのと、これと絡んで爲替は逐日暴落を演じ 29 日朝は期近物 31 弗%となつた爲め、氣早の連中は腹の中に先行何か期する處があつて賣おしみ、悲觀論者も環境に引きずられて賣れないながらも工形は

値だけは上げようかと云ふ氣分になつて前旬に引き換へ一齊高となつた。是等の氣配は特に大阪方面に甚だしいと云はれて居る。取り分け東京では丸鋼ベースが珍らしく 6 圓臺に飛躍したのが好感を與へたと大阪の硬化に捲き込まれた感が深いと云はれて居る。

東 京 市 況

丸 鋼 何と云ふても今旬の出色はベースの躍進である。たつた 10 錢翫みの高値でも 5 圓臺と 6 圓臺では氣持が異ふ。これは鋼材全體に好感を與へるものとして喜ばれて居る、6mm は線材高と爲替安に反撥し 9 mm、12 mm は底意強くザリ高となり中丸以上も強保合を續けて居る。

角、平鋼 角、平共消費數量が少ない爲め今迄大して眼中に置かず、手當薄だつたのが此處へ來てそろそろ利いて來たと丸鋼の硬化に連れて漸騰歩調となつたと見られて居る。

型 鋼 中型等山は 6×50 の狂相場が入荷と入荷氣構へで平均された代りに 6×65 が今度は昂騰氣勢となつたがこれも旬日の内には入荷があるとの事でそれまでの命と見られて居る。其の他の中型は 2、30 錢の處を彷徨して居る、今旬中の冴へないもの一つである。其の他の

頭重の域を脱せられない。

鋼 板 1、2 中板物は各寸法別にすると思惑の對照とする手頃の數量なので近來買占めや賣惜みが奏功して市場は昂騰氣勢を續けて居る 16mm は再び反撥し未だ先高を豫想され 23 は西へ引かれて硬化し 32 も思惑が手傳つて 5、70 錢の暴騰を演じ 45 は實需高も相當あつた爲めやはり昂騰を續け 60 は品薄でシャーも手持なく耽り 90 以上も連れて 10 錢翫みの硬化を見せた。

大 阪 市 況

丸鋼 陽光は稍薄らいで吹く風は霰、曇さへ交へて肌身にしむ、油断して健康を害ねる時である。而し兎に角春の兆がホノ見えるやうになつたのは事實である。我鐵鋼界も一部氣早なところは春氣分に酔ふてゐる。だが全般に見れば縷報の如く實需臺頭による活況にはあらずして政府の所謂インフレーション政策等に基因する奇現象と云はれ、従つて33弗臺割れを報じてゐる昨今の爲替相場の不安風は暖かそうでシんに針があるやうである。ベースものに爲替下落にて保價高となり従つて相場は漸騰歩調を辿つてゐるが極端走る高値には買手なく又安値には賣應ぜざる爲め先づ力強い足どりを見せ相場は6圓以上を唱へられてゐる。細物は伸鐵方面より出廻り弗々あるも目下ロッド高を移して氣配は駢りを傳へられてゐる。中丸は一時共販よりの荷廻不順調のため高値を維持してゐるが最近弗々注入りありて小甘く太は市中ストック漸減の態にて7圓5、80錢と光つてゐる。

扉際にある草青し春曇

角、平鋼 角鋼1'、1¼'、1½'、1¾'は極端なる品棕れにて手堅く、2'以上4'のものは市場皆無とあつて相場は7圓以上を唱へられてゐるが目先入荷を氣構へて氣配は軟弱を傳へられてゐる。平鋼メーカーの荷廻弗々にあり且つ伸鐵方面よりの手當もあるがこれに伴つて相當な需要もある關係から商内はスムーズに行はれてゐる。

型鋼 小型アングルは買氣を刺激するに足るものなし。中型等山は引續き荷動き活潑にて殊に2'、2½'等は手持薄の爲め相場も6圓7、80錢と呼ばれ大型物不變。工形鋼及び溝形鋼大口注文は四社側に於て引受られてゐる關係から問屋筋では大した荷もなく唯小口當用商内で、お茶を濁してゐる有様で相場は閑散裡に一高一低を呈してゐる。

鋼板 1、2中板は需要統制圓滑に行はれてゐる關係から先づ採算點を維持。¾'厚は各寸法共異常な反撥を見せ目先も現状のまま推移するであらうと見られてゐる厚板は共販値上げ發表により市場もこれに追隨し目下ジリ高歩調にあり。

線材 爲替安のため先高を豫想されて賣溢り傾向にあり、前旬來大陸物、國産品共に漸騰歩調を辿つてゐる。

鐵力板 最近オイルサイズに對する需要一時に殺到した爲めに市中品不足を現出しこれが他の品物に影響し市場は幾分緊張してゐる。

販賣旬報 第189號 昭和7年3月11日
製鐵所販賣部

訂正通知 前旬掲載のブラツセル齋藤囑託通信は内、

地、輸出向相場表まで、

次の記事「此の新棒鋼組合の成立に端を發して」より以下は1月中大陸市況の續き

5、6月積先物協議會

3月8日八幡製鐵所會議室に於て5、6月積先物協議會を開いた。

買手は現下に於ける爲替關係の不安定と賣行不振の市況を楯として前月値段据置きを主張した。

品 種	入電 沖着	河岸着値段 (爲替\$32-½)		希望	決定	備考
		10-½	10-½			
角鋼 ベース	\$15.90	¥68.35	62.00	64.00	2円上げ	
平鋼(本所分野)	15.90	68.35	62.00	64.00	"	
大型山形鋼	15.90	68.35	62.00	63.50	15錢上げ	
工形鋼	15.70	67.74	62.00	63.00	1円上げ	
溝形鋼(吋寸法)	19.00	77.74	71.00	72.50	15錢上げ	
"(耗寸法)	16.00	68.65	62.00	64.00	2円上げ	
丸鋼 ベース	15.90	68.35				
" 9mm	17.20	72.29				
中小型山形鋼	15.90	68.35				
鋼板 6mm以上	18.10	75.02				
" 4.5mm	18.10	75.02				
" 3.2mm	18.60	76.53				
" 2.3mm	21.70	90.92				
" 1.6mm	22.40	93.04				
線材 B.W.G.No.5	25.50	91.96				
黒薄鋼板 £	10-15-0	148.37				
鐵力板 170 lbs	1-12-2	18.44				
" 100 lbs	0-17-9	10.21				

然し12月以降に於ける値上げは只爲替の動きを唯一の基準とし行はれたるに不拘爲替を考慮外に置けとの主張は元より無理な要求である、故に茲 2、3箇月の値段決定の建前に做ひ輸入値段の大凡 4、5圓方下値に置くことが最も妥當な値段と思はれ下記の通り決定した。

三エス會—4、5及5、6月積賣出し

月日場所 2月29日製鐵所東京出張所

出席者 三井、三菱、日立、高島屋、製鐵
議 事

1. 4月及5月積賣出しの件

爲替の激落に基因して外注値段は前月に比しT級にて49圓、B級にて56圓の高値となり、一方市中のB級は相當手持もある關係上大なる躍進は見られざるもT級はB級に比し品薄状態なる爲外注の高値に連れて強調を示し居る状況にて協議の結果次の通り決定した。

(イ) 値 段

B級 250圓(裸バンド締) 30圓上げ

T級 320圓(箱入) 40圓上げ

(ロ) 2級品は2割以内差支なし。

2級品の賣價は各々1級品の金30圓引のこと。

(ハ) 締切 4月6日

締切以後の値段は適宜本所に於て決定す。

2. 雑 件

今後値段決定の爲めの三エス會は 隔月に開催することとした

外 注 値 段

	Transformer Stalloy	Motor Sheet Special Loys
Cif	£ 27-12-6	£ 21-12-6
Ex. @ 1/8-1/4	¥ 313.85	¥ 245.68
Int. 1.3%	4.08	3.19
Duty	5.08	5.08
Charges	1.10	1.10
	¥ 324.11	¥ 255.05
Per kilo ton	319.00	251.03

硅素鋼板の申込と引受—三エス會の 4、5 月及 5、6 月積の申込は次表の通り 手持消化と先行の手當とを考慮に入れて 5 月積が 700 噸と云ふ近來にない大きい數量となつた。

	B 1 級		T 1 級		計
	0.43 耗	0.35 耗	0.43 耗	0.35 耗	
4、5 月積	90	110	—	150	350
5、6 月積	160	260	—	290	710

猶申込は全部引受と決定した。

4. 5 月積鉄力板賣出し—月日場所、3 月 3 日製鐵所、東京出張所、出席者 製鐵、四社及問屋、議題 4、5 月積賣出しに關する件。
買手希望事項

1) 値段別紙外注採算を基準として可成急激の引上げを差控へ 170 lbs もの 16 圓 50 錢、100 lbs もの 9 圓程度に止められたき事

- 1、2 級品を 1 級品の 3 歩引として發表あり度事
- 1、170 lbs、100 lbs の割合を 6 割、4 割とせられ度き事

以上に就き當所としては買手希望の通り 値段の急激なる上下は市場に悪影響を及ぼすを以て外注値段一杯に値上げする意向はなきも、買手の云ふ逐次に外注に近く追隨する意味より先月と今月の爲替の差額だけは全然考慮外として、單に本國コストの値上りだけを見たる 17 圓 30 錢、9 圓 40 錢程度に決定してはと申出でたるも買手は現下の市場が消化力なく追隨困難なると、獨逸 2 級品の脅威を理由として先月の發表値段に今月のコストの値上りだけの前述希望値段を固執し、結局買手希望通りの計算の値上りに爲替も若干加味したる下記値段に決定した。

170 lbs 17 圓 (2 圓 50 錢上げ)

100 lbs 9 圓 20 錢 (1 圓上げ)

2) 2 級品を 1 級品の 3 分引とする件は今月に限り承認する。

3) 170 lbs と 100 lbs の割合に就ては工場の作業の關係上度々變更せらるゝも 實行不可能に付き買手側に於て統計等に依り研究の上申出でらるれば研究すべし、兎に角今月よりと云ふ御希望には添ひ難し。

4) 締切 3 月 5 日

外 注 値 段

	English prime Coke.	
	170 lbs	100 lbs.
Cif. Price	£ 1-12-8	£ 0-17-8
Ex. @ 1/10-1/4	¥ 17.62	¥ 9.53
Int. 1.3%	.23	.12
Duty	.90	.53
Charges	.15	.08
	¥ 18.90	¥ 10.26

1 月積以降鉄力板の申込と引受—別表の 1 月積と 2 月積以降の申込數量を見れば鉄力界の興廢を一目に眺められるではないか、之は決して消費力の増加を意味するものでなく自己の割前獲得から出た數字ではあるが、一面市場の趨勢を知る 好材料たるを失はぬ、日本の 1 箇年の消費高を 8 萬噸と見て 2 月積の申込の 9,000 何噸の如きは正に前記の事を裏書きするものである。

	申 込		引 受	計
	100 lbs	170 lbs		
1 月積	1,974	789	1,185	1,974
2 月積	6,118	638	1,186	1,824
3 月積	9,125	449	1,051	1,500
4 月積	7,492	390	910	1,300

猶此外定期として日本石油 600 噸、三菱(東洋製鐵向) 3 月積迄 400 噸、4 月積以降 600 噸あり。

3.4 月積厚板の締切理事会—申込 8,000 噸

月日場所 製鐵所東京出張所、
出席者 製鐵、淺野、東海、主なる議事。

3、4 月積の締切 本月も先月同様、耳付以外に定尺切板の 2 種も賣出しをなしたが、申込は先月より約 1,000 噸の増加で次の通りである。猶 3 種に就て、前月に比較すると耳付は 800 噸も減少したのに定尺が 1,300 噸も増加したのは定尺ものゝ市場の好調が反映したとも見られる切板は 500 噸近くの増加である。

申込數量
耳付 3,400 噸 定尺 2,774 噸 切板 1,950 噸 計 8,124 噸
此申込は全部引受に決定したが川崎造船は 2 月下旬ロールスタンド破損により當月物の 割當なく其他の組合員にて引受けた。

黒鉄共販 3、4 月締切理事会—申込 5 萬餘噸

月日場所 2 月 27 日大阪中央電氣俱樂部、
出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及四社、
議 事 3、4 月積締切の件

當月は季節的關係と 賣出發表後に於ける爲替の暴落に因り意外の買氣を刺戟し申込數量は別項の通り計 5 萬噸

を越ゆると云ふ頗る盛況を呈した。之と前月の數量を照合して見ると

	2月積申込	3月積申込	増
薄物 内地向	16,792	34,630	17,838
輸出向	1,340	6,085	4,745
厚物	5,494	9,838	4,344
計	23,626	50,553	26,927

と云ふ様に前月の倍以上となり、特に薄物に於ての争奪戦は激しい極みである。以上の申込に對し次の通り引受と決定した。

1、薄物

(イ)内地向

社名	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
申込噸數	19,680	9,680	2,650	2,085	535	34,630
引受噸數	9,000	4,000	3,650	1,560	535	17,745

(ロ)輸出向

社名	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
申込噸數	2,910	2,000	1,000	150	25	6,085
引受噸數	513	225	149	83	25	1,000

2、厚物

社名	川崎	製鐵	徳山	日鋼	計
申込噸數	5,775	715	2,641	707	9,838
引受噸數	3,000	400	2,052	707	6,159

中板共販理事會—4,5月積賣出し

月日場所 3月2日製鐵所東京出張所

出席者 東海、製鐵及4社

議事 4,5月積中板賣出しの件

1、値段 爲替不安定の今日の狀態を値段に、市場に於ける中板類のエキサイトして居る事を數量の點に考慮されたしとの買手の希望であつた。理事會は買手側の希望の妥當なるを認めて若干の値上げに留めて數量の點も考慮することにした。

2、締切 3月5日

外注値段

plate Base	\$ 18.00	換算	¥ 74.71
" 3.2mm	18.50		76.22
Sheet 2.3mm	21.00		88.79
" 1.6mm	21.70		90.91
Ex. Rate @		32 1/2	

中型山形共販理事會—4,5月積賣出し

月日場所 3月2日製鐵所東京出張所

出席者 日本鋼管、東海、製鐵及定期關係者

議題 4,5月積出しに關する件

1、値段 定期團の希望としては外注値段は別項の如く相當高値なるも値上りは主要原因たる爲替が近來寔に不安定な爲め先行の見透しも附かざるを以て前月の1圓上げの61圓程度にせられたしとの事であつた、之に對し理事會の空氣は4,5月は已に需要期の絶頂で此際あまり外注値段と値開きを置くことは市場の騰勢を挫折する感もある故大型物と歩調を一にする意味より今回は64圓に値上げしたしと提案し協議の結果外注値段との鞘を概ね先月と同程度に置く次記値段に決定した。

等邊山形鋼 62圓50錢(2圓50錢上げ)

不等邊山形鋼 63圓50錢(")

2、締切 3月10日

外注値段

C. I. F.	\$ 15.90	換算	¥ 68.18
Ex. Rate	\$ 52 1/2		
Charge	¥ 1.90	Per ton	
Duty	¥ 18.63		

線材共販理事會—4,5月積賣出し—4圓上げ

月日場所 3月3日於製鐵所東京出張所、

出席者 神戸製鋼及5社

議事、4,5月積賣出しに關する件

1、値段數量

(イ)買手側の希望 線材は其後依然として強調を持續し特に大阪方面に於ては90圓捌みを唱へらるゝ折柄なるも外注値上りの原因たる爲替に就ては上海事件を中心として先行に對し硬軟兩様の見方はあるにしても此際外注一杯を見るは勿論危險なるを以て之を緩和する爲め若干の餘裕を残す意味と、先行値上の希望を持たず爲め八幡87圓、神戸86圓50錢に願度し。

數量に就ては今迄相當増加したるも、難なく消化されたるも斯くの如き市況なれば1萬2,000噸位を賣出されたし。相當高値となりたる今日に於て、輸出物を保稅品のみに委すことなく内地メーカーにても是非輸出する様御考慮ありたし。

(ロ)組合としては値段數量共に妥當のものと考えらるゝを以て全部買手の希望通り決定した。輸出に就ては神戸製鋼も來年早々より増産となり、製鐵所も自然増加の傾向にあるを以て近き將來に於ては是非輸出を必要とする狀態なるも此輸出に於て困難なるは其の取締り方法にありて、其巧拙に依り市場に重大影響を及ぼすを以て特に其の點を留意し今より研究し置かれたし。

2、締切、3月3日午後5時迄

外注値段

Cif.	\$ 25.50
Ex. Rate @ \$ 32 1/2	¥ 78.46
Int. 14%	1.10
Duty, 18%	14.12
Charges	.85
1.015 Kgs	¥ 94.53
1.000 Kgs	¥ 93.13

4,5月積線材の締切—申込2萬噸

4,5月積線材は3日に締切つたが、前月と同様製品たる釘、針金の好調特に針金の騰勢は一般の買氣を誘ひ、申込は前月の2萬4,000噸に比すれば稍下火となつた感はあるが、それでも猶2萬噸を越ゆる盛況を呈した。

東京方面は殆んど實需筋の手に入るが、大阪方面は消費高が多いただけ市中の思惑も手傳つて申込が漸増の傾向にあるは特に注目に値するものであらう。

2月の外注入荷が只の1,200餘噸であることは製品の需要期と相俟つて益々線材をして硬化せしめて居る。引

昭和7年4、5月積線材申込及引受數量

店別	區分	神戸製鋼				製鐵所				計					
		東京	大阪	名古屋	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計	東京	大阪	名古屋	八幡	計
申 込	井菱	—	1,000	—	1,000	1,200	1,035	65	—	2,300	1,200	2,035	65	—	3,300
	岩井	—	575	—	575	1,070	1,075	65	—	2,210	1,070	1,650	65	—	2,785
	安宅	—	2,580	—	2,580	1,500	2,150	—	150	3,800	1,500	4,730	—	150	6,380
	日商	—	2,250	—	2,250	700	2,280	—	—	2,980	700	4,580	—	—	5,230
	計	—	2,300	—	2,300	400	100	—	—	500	400	2,400	—	—	2,800
引受計	—	8,705	—	8,705	4,870	6,640	130	150	11,790	4,870	15,345	130	150	20,495	
		—	6,000	—	6,000	2,950	3,770	130	150	7,000	2,950	9,770	130	150	13,000

受は買手の要望に従ひ 1 萬 3,000 吨として上表の通り割當てた。

2月中輸入概況

1) 昭和 5 年下半期より昨年上半期までの輸入が過去數箇年間に於ける最少量で、むしろ過少ではあるまいかとは曩に報じたところであるが、茲に再び書く事を許して戴けるならば下記昭和 4 年以降 3 箇年間の 2 月の輸入數量の夫々の年間總輸入數量に對する比率は此の間の消息を雄辨に物語る。

年 別	4 年	5 年	6 年
總輸入數量	100%	100%	100%
2月輸入數量	10.3%	13.7%	7.3%

然るに過少と言はれてゐた先年 2 月の 7 割 3 分よりも絶對數に於て本年 2 月の輸入數量は約 600 吨の減少で復々異常の輸入狀況を示した。

2 月の市況も、供給値段も、不需要に拘はらず強調を持續してゐるので本月の輸入數量 12,194 吨が我鐵鋼界好況時の 2 月に於けるノルマルな數量として自給の功成れりと喜び度いが業界の躍動は政局安定、インフレーション政策、本國鐵鋼界恢復等の積極的原因に基因するのではなくて是れ等に對する期待は美事に裏切られて只爲替安に引摺られ、賣出數量に對する販賣機關の遠謀に授けられて跳つたに過ぎないのでチャルメラを吹きヒョットコが踊たのでは驚も鳴かねば御光もささず、經濟界環境の依然たる不健全に加はへて爲替安と云ふ特殊條件が餘儀なく先年にも増して輸入を僅少に止めたものと見られる

2. 金解禁直後の外注品も來月は姿を見せる風であるし線材の無氣味な沈黙が破られるのも近いので今後 1, 2 箇月は需要期と相俟つて相當の増加は免れないが、入荷一巡した後は再び沈靜に返つて經濟界の善惡を超越して輸入は甚しく多量に上らぬものと思はれる。

爲替下落は市場硬化の材料となり従つて輸入に走り度くも好況時即ち爲替安と云ふ自然的障壁が輸入を困難に陥れるので外注追隨主義が放棄されなければ今後の輸入界は案外な傾向を辿り天の岩戸も其處より開くのではあるまいか。

さりながら人間事萬塞翁が馬、あすの事は申さぬものにて候、とらぬ狸の皮算用よりも今が戒心、改心の仕處ならずや。

3. 條鋼中注目を要するは等山の 217 吨の不等山の 408 吨で而も何れも全部國內寸法物と云ふ點である。特殊品質の物は兎も角完全に國內で生産される一般的鋼材を輸入する事は再考參考を要するものではあるまいか。先

月の丸鋼 1,000 吨の輸入や今日の山形鋼などから眺めると、過去のあの非常に緊張して居た外注防遏の思想がそろそろ緩んで來たと思ふ、斯る傾向から見ると將來或は是れに依る入荷の一時の殺到も充分豫想される事なので丁度戒心自重を新たにす良い時期である。等山、不等山に反して嬉しいのは丸鋼で 700 吨中 440 吨は特殊鋼質で僅に 260 吨が普通品である。而も其中 100 吨は 9m/m が占めてゐるので、鋼材の王者丸鋼も愈々實質的に外注防遏の山が見へたと云へやう。工形と溝鋼は 1 吨も無く條鋼類全部で 2,098 吨前月に比して約 200 吨減少した。

鋼板も前月に比し約 600 吨の減少で 2,460 吨であるが民間メーカーの薄板界進出に先行波亂含みを想像する向もあるのでガツチリした既存統制機關と供給者が今後も一體となつて進むなら特殊物以外は遠からずして輸入市から影を消すのではあるまいか。

鉄力は 4,000 吨を突破したが本所増産の計畫も來年度に持ち越され相だし、中山鐵板の産額も微々たる状態では此の厄介な代物は矢張當分いたづら小僧とし放任してをくより致方があるまい。

同列同質たるべき鉄力が 3,400 吨臺を往來して嚴として抵抗してゐるのに兎貴分たる線材は復々前月より 770 吨を減じて 1,244 吨と過去數箇年間の最少量に落ち込んだ、便衣隊が潛入してゐるやうで不安な事夥しいが 3 月上旬の輸入も少いので 3 月も未だ暴れ出す氣配が無いらしい。

シートパイリングは本所製品の 2 號型丈けでは如何とも成し難く昨年 5 月より本年 1 月迄の生産高は 3,673 吨に過ぎないので従前よりの外國品のストックも使ひ果したと言はれて居たが、本月に入つて神戸 527 吨、横濱 453 吨、計 980 吨の入荷を見る事となつた本年 4 月に 1 號型が完成し將來配給が順調に運ぶやうになれば當然驅逐される物である。

鋼管も數年來の最少數量を示すに至つた、前年迄は横濱一港の輸入が神戸、大阪の合計に比適して居たが今年に入つて 1, 2 月と連續して横濱が少く神戸、大阪合計の平均約 5 分の 1 と反對の現象を示してゐる、鋼管本月の輸入は 316 吨で正に新記録と賣出値段を引下げて外注防遏に精進した業界當事者の努力が窺はれる。

要するに不需要期が全般的に輸入を手控へさせた結果が 12,194 吨、と僅少な記録を作つたのであるが、今後の輸入數量は爲替關係に依つて左右された結果が表現され

るのではあるまいか。

ブラッセル齊藤囑託通信 3月4日 入電

市場は弱氣配、相場下の如し、市場軟弱

棒鋼 大型山形 中小型山形 工形 鋼板
(BS.) (3/16")
2-10-0 2-9-0 2-10-0 2-9-0 2-19-0

2月19日發信 市況は不相變四圍の事情不安定の爲
先行案じの體にてメーカーは此上の安値には賣應せずと
唱へ居り候も買手より纏まりたる數量の確實なる注文あ
れば12志安にて賣應し居る始末に御座候所謂 Maker in
buyers favor と申すべきか

過日獨逸 Duisseldorf 市に開催せられたる國際線材組
合會合は本年4月以降の割當噸數竝に協定輸出値段の取
極める討議せしが是等具體的の決議を見ず次回ブラッセル
市にて再び會合の手筈と申居候

今週の發表相場下の如くに候

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2-12-0	fr. 490
Angles (heavy)	2-11-0	490
" (medium)	2-12-0	—
Joist (N. S.)	2-10-0	490
" (B. S.)	2-11-0	505
Hoops (base)	3-10-0	—
" (Cold Drawn)	7-0-0	—
" (Cold Drawn 26 B. G.)	7-5-0	—
Plates (Thomas 5 ^m /m)	—	580
" (3/16")	3-1-0	—
Wire rods	5-0-0	850

(for exfort all puiees in golb sterlinp)

東西市況一保合

今、強氣の材料として數へられるもの、内 主要なもの
は爲替安による先高氣分である、之と反對に弱氣を誘ふ
ものに實需の不振と目先入荷品に對する持久力の疑問が
ある。其に絡つて氣迷ひ材料として誰れにも判斷つかぬ
時局の推移が織り交ぜられて居る。

従つて荷動きは此處へ來て實需と見られる小口物は頗
る閑散になつたが思惑と考へられる 比較的纏つた取引は
弗々ある様に傳へられて居る。

又市中の値段は相當高値唱へではあるが、心中心細い
處がある爲め此上の伸力添はず、前へ一足後へ一足とタ
ドタドしい足取りと見られて居る、

東京市況

丸鋼 6m/m 東京は不相變の線材高に引き摺られて
高値保合を續げ、9m/m は一寸した買漁りもあつて下支
へとなり、ベース物は品も動かぬが値も動かず、安値仕
入物が影を消さぬ内は伸惱みと見られて居る。中丸以上
も前旬同様品薄に陥り。

角、平鋼 角は大した荷動きもない代り手持も少ない
爲めザリ高となり、特に2" は品掠れに7圓4、50錢と
墜調を傳へられて居る、平は民間寸法物が出廻り不順調
の爲め硬化し其内でも2" 物は7圓以上を唱へられて居
る。

型鋼 小型山形は1/8"×3/4" の8圓搦みを除いて
は1/8" 厚は大體7圓2、30錢、3/16" 厚6圓4、60
錢、1/4 厚は6圓80錢から7圓2、30錢を往來して
相場としては小甘いと云はれ、ベース山形は50m/m と
65m/m が主客轉倒して今旬は50m/m の入荷による落
潮とは反對に65m/m が躍進して居るが其他は概して保

合ひの6圓3、40錢と見られて居る。大型山形は當所
標準値段の2圓高を考慮に入れるだけの力は出ては來た
が荷動きがない爲め一寸頭重の感を懐かれて居る。不等
山は等山よりは寧ろ氣持よく強保合と見られ、溝形は今
旬に入つて殆んど7圓臺となつた程の強調ではあるが一
部では行き過ぎの感を持つてゐるものもあるので高値の
ものは追々と平均されると見て居る筋もある、工形は3×
4の7圓3、50錢などを除けば平凡。

鋼板 光り物 1、2 中板は其勢益々旺んで、萬年強
氣と云はれる1.6m/m は此度は3×6に火が付いて一舉
に4×8 追越し店によつては11圓を唱えて居る程であ
る。然し一般に高過ぎると考へて居る爲め先の賣買共見
合せて推移を眺めて居る。2.3 は消費高が少ない爲め品
掠れにも大して不自由はないが1.6m/m などに提燈を附
けて躍騰氣勢を見せて居る。3.2 は此邊が頂上と見られて
寧ろ頭重の感あり、4.5 も高値を續け、6.0m/m 以上も中
板の奔騰に連れて堅調を續けて居る。

大阪市況

丸鋼 總體的に大底を突いたことは事實で昨今の商
人の食指動きどうやら商機の接近を思はしめるものがある。
ベースものは目先年度變り、需要期等の強材料を織
り交ぜに6圓40錢カツチリと如何にも春らしき相場を
呈してゐる。中丸は市中品掠れに搗て加へてシャフト用
としての注文も増加の傾向ありて相場は6圓70錢を唱
へられてゐる。太丸は最近九州方面へ相當積出された爲
め市中極度の品薄を現出し従つて相場も8圓以上を唱へ
られ時節柄非常に注目されてゐる。

解け合つて雪も氷も春の水

角、平鋼 角鋼は賣行抄々しからざるも四圍の事情か
ら相變らず高値を維持し就中1" 以上3" は極端なる品
掠れにて相場は7圓を唱へられ其他のものは6圓6、
70錢見當である。平鋼は當所より弗々注入あるも順次消
化され且つ2 1/2、3" 等は伸鐵方面より荷廻りあるも品
薄の市場には響かず。

型鋼 小型アングルは市中相當のストックあり 賣行
は弗々なるも何等手掛りになる新規材料見當らず従つて
相場も不冴、5×40 等は市場満腹の態にて6圓30錢と
目立つて安い。中山形6×50、6×65 等は 先般共販値上
發表により各手持筋とも賣惜みの態にて目先高値を氣構
へて7圓以上を唱へられてゐる。大型山形鋼は最近建築
方面よりの引合弗々あり先般來1、30錢方反騰した様子
である。ジョイスト3×4、3×5、3×6 等は品切れなる
も出足鈍き品丈けに相場も不伸、チャンネルは 賣行良好
にて目下春風春水一時に臻るの觀あり。

鋼板 中板1.6、1/4 等は豫想の如く滿洲國よりの注
文殺到せし爲め 急反騰を演じ目下手堅き含みで保合つて
ゐる。厚板は引續き漸騰歩調にあり。

線材 大陸物は目下1英噸97圓を唱へられてゐる。
一方内地ものは爲替相場の變轉極まりなき有様を眺めて
浮き沈みし前途果してどうなるか一向に見透しがつかない
と云はれてゐる。

鉄力板 本國高に加へて先般當所先物値上げ發表より
市場緊張の度を加へ相易もジリ高歩調を示してゐる。

線材、薄板、鋺力板輸入速報表

區分 品名	2月中旬				2月下旬				3月上旬			
	神戸	大阪	横濱	合計	神戸	大阪	横濱	合計	神戸	大阪	横濱	合計
	自2月9日 至2月18日	自2月9日 至2月18日	自2月8日 至2月17日	自2月8日 至2月17日	自2月19日 至2月27日	自2月19日 至2月27日	自2月18日 至2月26日	自2月18日 至2月26日	自2月28日 至3月9日	自2月28日 至3月9日	自2月27日 至3月7日	自2月27日 至3月7日
B.W.G.No.5	64	—	101	165	41	—	100	141	125	51	304	380
線材 其他	75	100	50	225	141	—	3	144	243	151	33	427
計	139	100	151	390	182	—	103	285	368	202	337	807
2月計	319	135	585	1,039	501	135	688	1,324				
薄板 0.7mm以下	48	629	117	794	100	281	49	430	257	258	202	717
2月計	78	1,223	320	1,621	178	1,504	369	2,051				
鋺力板	38	—	151	189	492	327	450	1,269	1,112	12	2,351	3,475
2月計	545	439	1,608	2,592	1,037	766	2,058	3,861				

東京大阪市中相場

(單位圓)

寸法	2月中旬		2月下旬		3月上旬	
	東京 2月18日	大阪 2月15日	東京 2月29日	大阪 2月25日	東京 3月5日	大阪 3月7日
丸鋼						
6mm	7.95	8.00	8.30	8.00	8.30	8.10
9	6.20	6.30	6.30	6.40	6.30	6.50
12	6.10	6.20	〃	6.35	〃	6.45
19	5.95	〃	6.10	6.30	6.10	6.40
25	〃	〃	〃	〃	〃	〃
50	6.50	6.40	6.70	6.40	6.80	6.70
65	6.60	6.50	6.60	〃	6.60	6.80
角鋼						
9mm	6.50	6.50	6.70	6.50	6.70	6.50
12	6.40	〃	6.50	〃	6.50	〃
15	6.50	6.60	6.60	〃	6.60	〃
19	6.20	6.80	6.40	6.60	6.50	6.60
38	6.50	7.10	6.60	7.00	6.60	7.10
平鋼						
1/4" x 1 1/2"	6.60	6.40	6.60	6.40	6.60	6.50
3/4" x 2"	7.00	〃	7.10	6.45	7.20	6.60
3/4" x 3"	6.20	6.50	6.30	6.40	6.30	6.70
3/8" x 4"	7.30	6.80	7.30	7.00	7.20	7.00
1/2" x 4"	6.30	6.60	6.40	6.70	6.50	6.80
等邊山形鋼						
mm mm mm						
6 x 50 x 50	8.20	7.20	7.40	6.70	7.10	6.80
6 x 65 x 65	6.20	6.60	6.80	7.00	7.30	7.00
9 x 75 x 75	〃	6.70	6.30	6.60	6.30	6.60
9 x 130 x 130	6.15	6.60	〃	〃	〃	6.50
12 x 130 x 130	〃	〃	〃	6.80	6.40	6.80
15 x 150 x 150	〃	〃	〃	6.70	6.30	6.50
不等邊山形鋼						
3/8" x 2" x 3"	6.40	6.70	6.40	6.60	6.50	6.70
3/8" x 3 x 4	6.20	6.50	6.30	6.30	6.40	6.40
3/8" x 3 1/2 x 5	〃	〃	〃	6.50	6.30	6.50
3/8" x 4 x 6	〃	6.60	〃	6.60	〃	6.60
1/2" x 4 x 6	〃	6.50	〃	6.70	〃	〃

寸法	2月中旬		2月下旬		3月上旬	
	東京 2月18日	大阪 2月15日	東京 2月25日	大阪 2月29日	東京 3月5日	大阪 3月7日
溝形鋼						
1/4" x 2" x 4"	6.60	6.70	6.80	6.60	7.00	6.50
0.312 x 2 1/2 x 5	7.00	7.40	7.40	7.30	7.40	7.30
3/8" x 3 x 6	7.20	7.80	7.60	8.00	7.60	7.80
3/8" x 3 x 8	6.90	6.70	7.10	6.60	7.10	6.70
3/8" x 3 1/2 x 10	7.15	7.40	7.20	7.30	7.20	7.50
3/8" x 3 1/2 x 12	〃	〃	7.30	〃	7.30	7.60
工形鋼						
1/4" x 3" x 6"	6.50	6.60	6.50	6.60	6.50	6.70
3/8" x 6 x 12	6.30	6.70	〃	6.70	〃	6.50
0.28 x 4 x 8	6.45	6.60	6.35	6.50	6.40	6.60
0.35 x 5 x 12	6.50	7.20	6.40	7.30	6.50	7.40
0.36 x 5 x 10	〃	7.30	6.50	〃	〃	7.50
鋼板						
1.6mm x 3' x 6'	9.50	9.50	9.80	9.60	10.90	10.50
1.6 x 4 x 8	10.20	〃	10.20	〃	10.30	〃
3.2 x 4 x 8	8.00	8.30	8.50	8.30	8.80	10.30
3.2 x 5 x 10	〃	8.50	8.60	8.40	〃	10.00
6.0 x 4 x 8	7.60	7.40	7.80	7.50	8.00	8.30
6.0 x 5 x 10	〃	〃	8.00	〃	8.20	〃
9.0 x 4 x 8	7.20	〃	7.30	〃	7.30	〃
9.0 x 5 x 10	〃	〃	〃	〃	〃	〃
薄鋼板(13枚)						
米英	—	—	—	—	—	—
八 幡	49.5	48.5	51.0	51.5	50.0	51.0
	50.5	48.5	51.5	52.0	50.5	50.5
鋺力板						
米	{170lbs 18.00	17.50	19.00	17.00	19.00	19.00
英	{100 9.50	9.75	10.00	10.00	10.00	11.00
	{170 14.50	14.20	16.00	15.50	16.00	17.50
八 幡	{100 8.50	8.50	9.00	9.00	9.00	10.30
	{170 14.50	14.60	16.00	15.50	16.00	17.50
	{100 8.50	8.80	9.00	9.30	9.00	10.30
線材						
No. 5	87.00	86.00	90.00	90.00	90.00	88.50

備考 單位 100kg につき(置場値段)、但し薄板は 1枚當り。線材は 1噸當り。鋺力板は 1箱當り。

昭和7年1月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

寸法	丸鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	阪揚	神揚	京濱	其他	計	阪揚	神揚	京濱	
9mm	1,136	1,700	310	3,146	—	—	11	11	3,157
10	2	—	—	2	—	—	2	2	4
10.5	—	—	—	—	—	—	1	1	1
11	1	—	—	1	—	—	—	—	1
12	—	—	—	—	—	—	6	6	6
13	3	—	—	3	—	—	2	2	5
14	1	—	—	1	—	—	—	—	1
15	2	—	—	2	—	—	1	1	3
16	1	—	2	3	2	—	—	2	5
17	4	—	2	6	—	—	—	—	6
18	7	—	2	9	—	—	—	—	9
19	29	1	—	30	—	—	—	—	30
21	68	—	—	68	—	—	4	4	72
22	6	—	—	6	—	—	—	—	6
23	—	—	—	—	—	—	1	1	1
25	1	1	—	2	—	—	2	2	4
28	6	—	—	6	—	—	—	—	6
32	10	—	—	10	—	—	1	1	11
36	—	—	6	6	1	—	—	1	7
44	—	—	1	1	—	—	—	—	1
50	160	193	85	438	—	—	1	1	439
55	200	65	29	294	—	—	—	—	294
60	134	47	9	190	—	—	—	—	190
65	93	35	32	160	—	—	—	—	160
70	190	63	2	255	—	—	—	—	255
75	150	62	18	230	—	—	—	—	230
80	25	14	5	44	—	—	—	—	44
85	—	—	3	3	—	—	—	—	3
90	19	11	—	30	—	—	—	—	30
95	25	20	—	45	—	—	—	—	45
100	—	34	1	35	—	—	—	—	35
110	2	—	—	2	—	—	—	—	2
丸鋼計	2,275	2,246	507	5,028	3	—	32	35	5,063

寸法	角鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	阪揚	神揚	京濱	其他	計	阪揚	神揚	京濱	
12mm	50	86	12	148	—	—	—	—	148
16	66	68	—	134	—	—	—	—	134
19	—	5	—	5	—	—	—	—	5
20	1	1	—	2	—	—	—	—	2
22	—	2	—	2	—	—	—	—	2
25	—	3	—	3	—	—	—	—	3
30	—	1	—	1	—	—	—	—	1
32	117	40	2	159	—	—	—	—	159
38	124	54	1	179	—	—	—	—	179
44	16	1	—	17	—	—	—	—	17
46	—	2	—	2	—	—	—	—	2
55	—	3	—	3	—	—	—	—	3
65	5	7	5	17	—	—	3	3	20
70	—	1	—	1	—	—	—	—	1
100	—	—	19	19	—	—	—	—	19
角鋼計	379	274	39	692	—	—	3	3	695
平鋼									
19mm	141	61	62	264	—	—	—	—	264
22	291	60	35	386	—	—	—	—	386
25	201	34	30	265	—	—	—	—	265
32	157	81	89	327	—	—	—	—	327
38	8	—	—	8	—	—	—	—	8
40	2	—	—	2	—	—	—	—	2
44	15	—	—	15	—	—	—	—	15
45	10	—	—	10	—	—	—	—	10
50	6	—	20	26	—	—	—	—	26
60	4	—	7	11	—	—	—	—	11
65	22	—	—	22	—	—	—	—	22
70	—	—	7	7	—	—	—	—	7
75	18	2	—	20	—	—	—	—	20
80	—	1	—	1	—	—	—	—	1
90	11	2	5	18	—	—	—	—	18
100	—	2	9	11	—	—	—	—	11
115	—	—	3	3	—	—	—	—	3
平鋼計	886	243	267	1,396	—	—	—	—	1,396
棒鋼總計	3,540	2,763	813	7,116	3	—	35	38	7,154

昭和7年2月當所製品揚地別發送高

(單位噸)

揚地別	品名	鋼材				鋼片及鋼塊	副製品	合計	揚地別	品名	鋼材				鋼片及鋼塊	副製品	合計
		官廳	民間	計	計						官廳	民間	計	計			
內地向	當所	84	6,281	6,365	12,136	16,961	35,462	朝鮮地方	4,110	152	4,262	—	—	4,262			
	濱地方	172	20,476	20,648	169	43	20,860	臺灣地方	1,260	—	1,260	—	—	1,260			
	阪神地方	373	28,574	28,947	1	21	28,969	其他	—	—	—	—	—	—			
	伊勢灣	12	2,639	2,651	—	20	2,671	計	8,694	59,236	67,930	16,375	19,413	103,718			
	東海道	75	24	99	—	—	99	輸出向	—	293	293	—	—	293			
	山陰地方	758	142	900	3,512	1,341	5,753	滿支其他	—	—	—	—	—	—			
	北陸地方	—	21	21	—	—	21	計	—	293	293	—	—	293			
	內海沿岸	1,850	551	2,401	557	1,027	3,985	合計	8,694	59,529	68,223	16,375	19,413	104,011			
	奧羽地方	—	—	—	—	—	—	關東地方	—	—	—	—	—	—			
	關門地方	—	—	—	—	—	—	其他	—	—	—	—	—	—			
九州地方	—	376	376	—	—	376	合計	—	—	—	—	—	—				
北陸地方	—	—	—	—	—	—	合計	—	—	—	—	—	—				

昭和7年1月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	塊	和	典	合	關	印	其他	計	本年累計
條及竿鐵 (丸、角、平形にして、 直径又は幅15mmを超えざるもの)	38	20	847	86	12	—	23	6	6	—	—	1,038	
〃 (丸、角、平の、其他のもの)	127	44	650	281	101	25	8	1	—	—	2	1,239	
〃 (テ、ア、ン、グ、ル、形、及、其、他)	7	—	31	—	—	—	—	—	—	—	—	38	
〃 (其、他)	4	694	1,801	323	—	—	—	—	—	—	—	2,822	
レ、—、ル	—	—	24	—	—	—	—	4	—	—	—	28	
フィッシュ、プレート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
ワイヤ、ロッド (巻きたるものにして、 直径5mmを超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
〃 (巻、き、た、る、其、他、の、物)	1	185	1,129	775	27	—	93	992	—	—	—	3,202	
鐵板 (金屬を鍍せざるものにして、 厚0.7mmを超えざるもの)	109	—	163	—	10	8	10	43	—	—	—	343	
〃 (金屬を鍍せざるものにして、 厚0.7mmを超えざるもの、其他)	2,017	—	240	—	—	—	—	—	—	—	—	2,257	
〃 (金屬を鍍せざるものにして、 厚3mmを超えざるもの)	31	—	375	131	7	—	13	27	33	—	—	617	
〃 (金屬を鍍せざるもの、其他)	—	—	464	—	—	—	—	20	—	—	—	484	
〃 (錫鍍したるもの、(葉鐵及葉鋼))	1,155	—	1,058	—	—	—	—	1,664	—	—	—	3,877	
〃 (亜鉛鍍したるもの、(其他卑金屬を鍍したるもの))	—	—	32	—	—	—	—	77	—	—	36	145	
鐵線	26	10	675	17	2	—	6	71	—	—	—	807	
リード・ワイヤ	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
鐵リボン	43	31	345	90	1	—	69	—	—	—	—	584	
帶 (箍鐵)	69	741	825	2,284	—	—	—	82	—	—	—	4,001	
パラゴン・ワイヤ	8	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	18	
線 索	18	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	19	
撚合線	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	6	
バーブ・ツイスター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
鐵筒及管	23	—	492	—	—	—	4	1,153	—	—	—	1,677	
特殊鋼(稅表一)	12	—	24	100	53	—	—	2	5	—	56	252	
〃 (稅表二)	—	—	—	—	11	—	4	—	—	—	—	15	
鐵道車輛用輪及車軸	—	—	—	—	—	—	—	36	—	—	—	36	
鐵道車輛用タイヤ	—	—	39	—	—	—	—	—	—	—	—	39	
鐵道車輛用スプリング	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	3,698	1,726	9,224	4,087	224	33	230	4,185	44	—	94	23,545	
フェロ・マンガニース	41	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41	
フェロシリコン及シリコス ピーゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
其他の不可成鐵合金	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	5	
シートバー (ティンバーを含む)	—	—	2,399	—	—	—	—	—	—	52	—	2,451	
インゴット・ブルーム・ ピレット及ストラップ	—	5	—	—	—	—	4	—	—	7	—	16	
ケツグスチール及 パンプスチール	—	—	—	—	—	—	50	—	—	—	—	50	
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	41	5	2,404	—	—	—	54	—	—	59	—	2,563	
銑屑及故鐵	539	—	—	—	—	—	—	107	20,365	15,118	—	36,129	
	7,142	—	3	1,742	—	1,849	—	3,772	366	12,701	9,857	37,432	

昭和7年1月中當所品種寸法別生産高 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		スケルブ		計 5.037		22 78		鐵力板		其他の部	
丸鋼		72mm	239	球山形鋼		25 275		lbs		普通鋼	34
9mm	2,365	90	585	7"×3½"	50	28 112		170	538	鍛成品	
10	1	112	643	計 50		32 12		160	743	電氣爐鋼	59
12	3	142	292	乙形鋼		35 1		95	184	鍛成品	
13	2	計 1.759		計 50		40 11		B.W.G.No.		外輪	195
14	1			mm mm mm		50 41		30	413	車軸	61
15	10	棒鋼計 8.682		150×75×65	30	27 3		29	261	鋼線	18
16	2			計 30		24 19		計 1.955		磨鋼	12
18	4	型鋼の部		型鋼計 19.539		25 6		電氣鐵板		ボルト	6
19	4	等邊山形鋼		條鋼計 28.221		26 9		35mm	295	ナット	
21	18	20	153	鋼板の部		28 11		43	10	リベット	78
26	1	25	330	鋼板(0.7mm以下)		30 6		計 305		其他計 463	
28	21	30	310	0.5mm	1	32 3		1.85mm	169	鋼材合計 60,570	
30	47	35	24	6	31	34 2		二級品	1	鉄	
32	54	40	480	7	110	36 1		計 170		本所	26,264
34	10	50	1,084	10	20	46 1		其他鋼板		戸畑	10,703
33	19	65	668	13	2,433	53 3		大形切板	101	洞岡	17,365
38	3	70	24	B.W.G.No.		55 2		大形耳付	227	計 54,332	
40	8	75	141	30	42	59 2		計 328		合金鐵	
42	3	80	6	計 2.637		60 6		鋼板計 14,021		フリコン	38
44	14	90	620	鋼板(0.7mm超)		64 5		軌條及附屬品の部		計 38	
45	7	130	981	1mm	197	65 1		軌條		鋼塊	
46	4	150	3,825	1.2	54	69 50		6k	460	普通鋼塊	67,378
48	21	計 8.695		1.4	36	70 1		10	499	電氣爐塊	621
50	432	不等邊山形鋼		1.5	5	78 5		37	6,911	鑄造鋼塊	364
55	297	65×50	61	1.6	1,031	78 5		50	1,138	計 68,364	
60	109	75×50	260	2	37	78 5		計 9,008		鋼片	
65	86	75×65	228	2.3	225	78 5		繼目板		内部向	2,969
70	114	90×75	332	2.4	2	78 5		6k用	55	外部向	45,544
75	313	125×75	489	2.5	18	78 5		9	51	計 48,513	
85	6	125×90	452	3	30	78 5		10	60	シートバー	
90	219	150×90	268	3.2	394	78 5		50	161	外部向	5,774
95	44	150×100	346	3.5	34	78 5		計 327		内部向	5,462
100	122	4"×3½"	43	4	125	78 5		計 328		計 11,236	
計 4.364		溝形鋼		5	270	78 5		鋼板計 14,021			
角鋼		mm mm		5.5	8	78 5		軌條及附屬品の部			
12mm	112	65×50	61	6	448	78 5		軌條			
16	105	75×50	260	7	35	78 5		6k	460		
32	392	100×50	391	8	107	78 5		10	499		
38	184	200×90	191	9	145	78 5		37	6,911		
65	56	230×80	426	10	178	78 5		50	1,138		
96	102	230×90	370	11	6	78 5		計 9,008			
計 951		250×90	972	12	256	78 5		繼目板			
平鋼		6"×2½"	57	13	57	78 5		6k用	55		
19mm	118	6×3	469	14	40	78 5		9	51		
22	240	7×3	372	15	2	78 5		10	60		
25	144	計 3.248		16	111	78 5		50	161		
32	867	工形鋼		18	95	78 5		計 327			
50	7	mm mm		19	16	78 5		鋼板計 14,021			
60	35	150×75	283	20	71	78 5		軌條及附屬品の部			
65	3	200×100	265			78 5		軌條			
75	124	200×150	323			78 5		6k	460		
125	70	230×100	177			78 5		10	499		
計 1,608		250×125	1,108			78 5		37	6,911		
		300×150	2,090			78 5		50	1,138		
		24"×7½"	791			78 5		計 9,008			
						78 5		繼目板			
						78 5		6k用	55		
						78 5		9	51		
						78 5		10	60		
						78 5		50	161		
						78 5		計 327			
						78 5		鋼板計 14,021			
						78 5		軌條及附屬品の部			
						78 5		軌條			
						78 5		6k	460		
						78 5		10	499		
						78 5		37	6,911		
						78 5		50	1,138		
						78 5		計 9,008			
						78 5		繼目板			
						78 5		6k用	55		
						78 5		9	51		
						78 5		10	60		
						78 5		50	161		
						78 5		計 327			
						78 5		鋼板計 14,021			
						78 5		軌條及附屬品の部			
						78 5		軌條			
						78 5		6k	460		
						78 5		10	499		
						78 5		37	6,911		
						78 5		50	1,138		
						78 5		計 9,008			
						78 5		繼目板			
						78 5		6k用	55		
						78 5		9	51		
						78 5		10	60		
						78 5		50	161		
						78 5		計 327			
						78 5		鋼板計 14,021			
						78 5		軌條及附屬品の部			
						78 5		軌條			
						78 5		6k	460		
						78 5		10	499		
						78 5		37	6,911		
						78 5		50	1,138		
						78 5		計 9,008			
						78 5		繼目板			
						78 5		6k用	55		
						78 5		9	51		
						78 5		10	60		
						78 5		50	161		
						78 5		計 327			
						78 5		鋼板計 14,021			
						78 5		軌條及附屬品の部			
						78 5		軌條			
						78 5		6k	460		
						78 5		10	499		
						78 5		37	6,911		
						78 5		50	1,138		
						78 5		計 9,008			
						78 5		繼目板			
						78 5		6k用	55		
						78 5		9	51		
						78 5		10	60		
						78 5		50	161		
						78 5		計 327			
						78 5		鋼板計 14,021			
						78 5		軌條及附屬品の部			
						78 5		軌條			
						78 5		6k	460		
						78 5		10	499		
						78 5		37	6,911		
						78 5		50	1,138		
						78 5		計 9,008			
						78 5		繼目板			
						78 5		6k用	55		
						78 5		9	51		
						78 5		10	60		
						78 5</					

昭和7年1月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸) (其ノ一)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		46	10	六角鋼		シート		B.W.G.No.		B.W.G.No.	
		52.5	15	計	26	パイリング		26	3	8	204
		計	1010	八角鋼		計	250	27	81	6	351
		造船材料		計	11	型鋼計	706	28	162	5	1,059
丸	鋼	6.25mm	66	其他棒鋼		條鋼計	2,589	30	1,304	4	37
3/16"	35	計	66	計	1	鋼板の部		30 1/2	600	3	97
1/4	5	丸鋼計	1,076	棒鋼計	1.48	鋼板(0.7mm超)		計	2,240	2	48
5/16	8	角		型鋼の部		1/16	137	電氣鐵板		1	41
3/8	1	鋼		等邊山形鋼		3/32	16	35mm	82	0	23
1/2	37	計	110	6"	11	1/8	175	5	40	線材計 2,105	
7/16	9	平		溝形鋼		3/16	5	1	10	鋼管の部	
1/2	25	鋼		其他	10	1/4	4	1	10	鋼	管
5/8	10	計	110	計	15	5/16	1	B.G.W.No.		1/4"	1
2 1/2	3	計	110	造船材料		3/8	28	24	10	3/8"	1
2 3/4	5	計	110	寸法不明	3	1/2	1	計	305	1/2"	13
2 1/2	7	計	110	溝形計	18	3/4	4	縞鋼板		3/4"	68
2 5/8	15	計	110	工形鋼		1mm	1	3/16"	15	1	118
2 3/4	5	計	110	3" x 3"	4	1.4	10	1/4"	16	1 1/4"	18
3	10	計	110	8 x 5	41	1.5	23	計	31	1 1/2"	22
3 3/16	5	計	110	10 x 6	30	1.6	11	鋼力板		1 3/4"	18
3 1/4	5	計	110	12 x 5	46	1.9	1	lbs		2"	79
3 1/2	5	計	110	15 x 5 1/2	32	2	20	100	23	2 1/2"	16
4	2	計	110	15 x 6	35	10	2	170	697	3	45
4 1/4	24	計	110	18 x 9	142	40	7	sheets		3 1/4"	4
4 1/2	37	計	110	20 x 6 1/4	59	60	16	40	7	3 1/2"	22
4 3/4	16	計	110	24 x 7	38	70	11	60	16	4	31
5	45	計	110	計	427	80	11	80	11	5	1
5 1/4	6	計	110	丁形鋼		90	5	90	5	6	1
5 1/2	18	計	110	3" x 3"	5	100	18	100	18	6 3/8"	236
6	21	計	110	計	5	mixed	140	mixed	140	7	9
8	2	計	110	球山形鋼		oil size	1,326	oil size	1,326	8	42
9	17	計	110	造船材料		其他	1,097	其他	1,097	8 3/8"	500
10	12	計	110	寸法不明	3	計	3,351	計	3,351	9 3/4"	1
11	2	計	110	計	3	鋼板計	6,782	鋼板計	6,782	10	67
6mm	111	計	110	溝形計	18	其他		其他		12	60
10	19	計	110	工形鋼		軌條及附屬品の部		軌條		32	3
17	15	計	110	3" x 3"	5	軌		lbs		318mm	7
22	10	計	110	計	5	30	148	30	148	Pipe fitting	8
25	10	計	110	丁形鋼		Elev-		ator用		鋼管計 1,400	
29	10	計	110	計	5	計	219	計	219	其他鋼材の部	
32	10	計	110	球山形鋼		軌條計	219	軌條計	219	特殊鋼	
33	5	計	110	造船材料		線材の部		線材		丸鋼	108
35	11	計	110	寸法不明	3	線材		1/2"	3	鋼鋼	4
		計	659	計	6	4mm	104	4mm	104	鋼鋼板	139
		計	659	計	6	5	106	5	106	鋼板其他	62
		計	659	計	6	6	32	6	32	其他	20
		計	659	計	6	計	333	計	333	計	333
		計	659	計	6	外輪及車軸		外輪及車軸		計	55
		計	659	計	6	計	388	計	388	其他鋼材計	388
		計	659	計	6	計	13,483	計	13,483	鋼材計	13,483

昭和7年1月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸) (其ノ二)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
シート	2,451	フープ	112	366	1 $\frac{1}{16}$	1	3 $\frac{7}{16}$	4	リボン	計	626
バ		59mm	15	5	2	2	3 $\frac{1}{2}$	82			
フェロク	15	64	30	120	5	2 $\frac{1}{16}$	4	3 $\frac{3}{16}$	3	計	626
ロム其他		68	30	142	303	2 $\frac{1}{8}$	8	3 $\frac{5}{8}$	498		
ピレット	369	69	5	145	30	2 $\frac{1}{2}$	20	3 $\frac{3}{4}$	10	計	626
ケツクス		72	461	152	30	2 $\frac{1}{32}$	13	4	12		
チール	67	77	5	190	20	2 $\frac{1}{16}$	44	4 $\frac{1}{2}$	10	計	626
ブルーム		79	5	3 $\frac{8}{8}$ "	2	2 $\frac{3}{8}$	3	4 $\frac{3}{4}$	5		
	200	82	26	5 $\frac{8}{8}$	35	2 $\frac{1}{16}$	16	5	15	計	626
		87	5	3 $\frac{4}{4}$	97	3	3	45	5 $\frac{1}{2}$ "		
		90	715	1 $\frac{16}{16}$	3	3 $\frac{1}{16}$	2	7 $\frac{3}{8}$	1	計	626
		92	171	1	93	3 $\frac{3}{8}$	61	其他	692		
		93	40	1 $\frac{1}{4}$	157	3 $\frac{3}{16}$	150	其他	692	計	626
		102	20	1 $\frac{1}{2}$	158	3 $\frac{1}{4}$	20	計	4,727		
		104	40	1 $\frac{3}{4}$	2	3 $\frac{3}{8}$	26				

昭和6年12月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸	鋼	32mm	661	3 $\frac{1}{4}$	715	角	鋼	26	6	1 $\frac{1}{2}$ "	11
6mm	278	34	10	3 $\frac{1}{2}$	77	16mm	354	32	1	1 $\frac{3}{4}$	30
8	156	36	135	3 $\frac{3}{4}$	75	38	6	36	13	2	9
9	150	38	435	5	1	50	7	38	316	2 $\frac{1}{4}$	16
12	4,953	41	320	5 $\frac{1}{2}$	52	65	7	44	14	2 $\frac{1}{2}$	5
16	3,628	44	280	二級品	197	計	374	50	1,116	三級品	57
19	3,914	48	29	三級品	369	平	鋼	57	5	其他	5
22	3,697	50	24	其他	39	22mm	11	65	1,117	計	2,770
25	4,230	55	20	計	25,151	22.2	2	75	11	棒鋼合計	28,295
28	497	57	1			25	2	90	1		
29	195	65	13				2	100	22		

昭和7年2月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品 種	區 分	神 戸	大 阪	横 濱	2 月 計	前 月 計	本 年 累 計	前 年 同 期 累 計
丸	鋼	398	181	130	709	1,077	1,786	767
角	鋼	97	—	34	131	110	241	59
平	鋼	375	—	258	633	657	1,290	310
等	山	159	—	58	217	11	228	—
不	山	408	—	—	408	—	408	102
溝	形	—	—	—	—	19	19	59
工	形	—	—	—	—	428	428	467
鋼	板 (0.7mm超)	250	133	92	475	853	1,328	510
"	(0.7mm以下)	178	1,540	267	1,985	2,237	4,222	1,849
鉄	力	1,327	766	2,333	4,426	3,350	7,776	4,519
軌	條	—	—	53	53	219	272	333
線	材	420	235	589	1,244	2,106	3,350	8,892
シ	管	527	—	453	980	250	1,230	1,832
ト	他	45	222	49	316	508	824	1,498
鋼		124	54	439	617	774	1,391	778
其		4,308	3,131	4,755	12,194	12,599	24,793	21,975
計								
硫	炭	7,910	—	10,933	18,843	23,551	42,394	14,533
石	安	—	—	—	—	10	10	60
ナ	酸	102	78	105	285	173	458	112
ク	レ	27	—	20	47	21	68	53